

## 16 介護老人保健施設

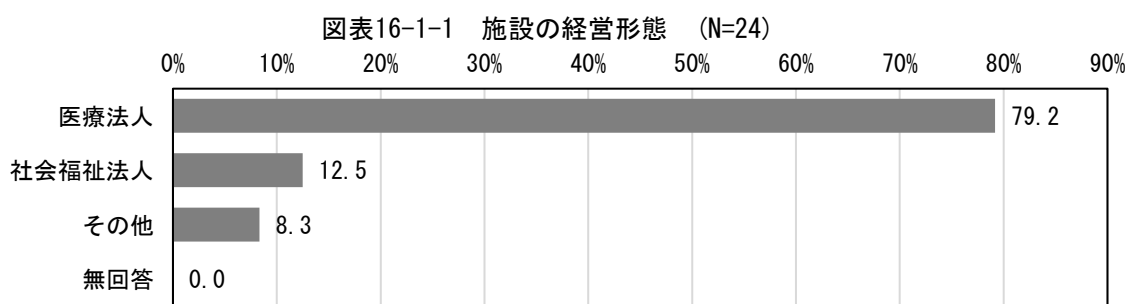
配布数 48/回収数 24/回収率 50.0%

### 問 1 施設について

#### 問 1 (1) 施設の経営形態

施設の経営形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

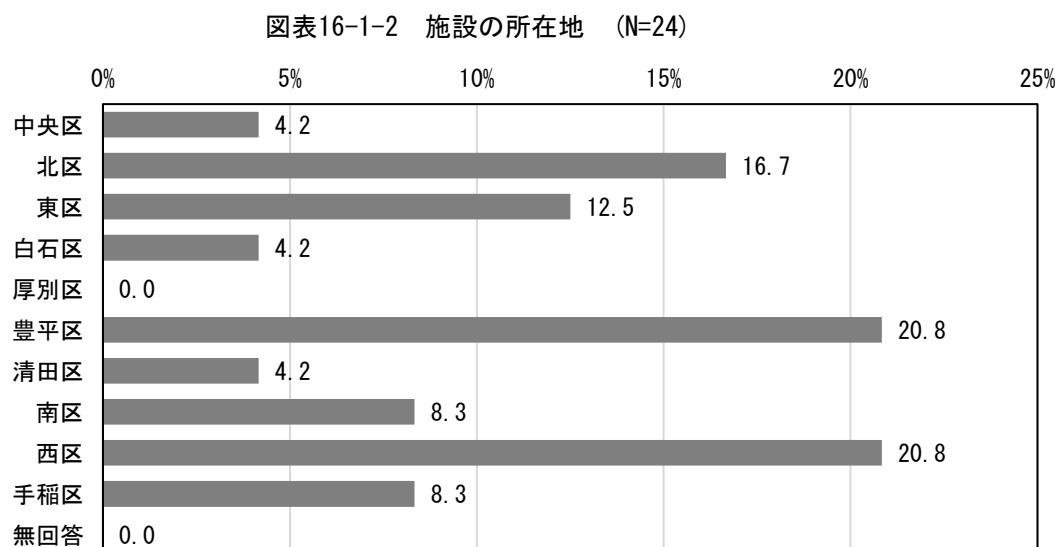
施設の経営形態については、「医療法人」が79.2%と最も高く、次いで、「社会福祉法人」が12.5%となっている。



#### 問 1 (2) 施設の所在地

施設の所在地について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

施設の所在地については、「豊平区」、「西区」が20.8%と最も高く、次いで、「北区」が16.7%、「東区」が12.5%となっている。

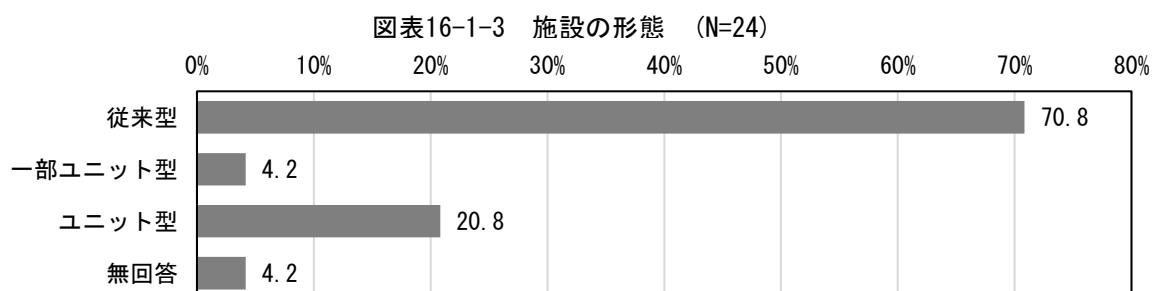


## 【⑩介護老人保健施設】

### 問1（3） 施設の形態

施設の形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

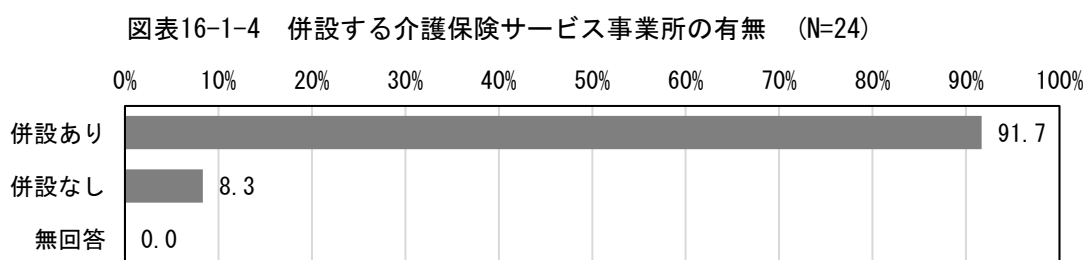
施設の形態については、「従来型」が70.8%と最も高く、次いで、「ユニット型」が20.8%、「一部ユニット型」が4.2%となっている。



### 問1（4） 併設する介護保険サービス事業所の有無

併設する介護保険サービス事業所の有無について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

併設する介護保険サービス事業所の有無については、「併設あり」が91.7%、「併設なし」が8.3%となっている。



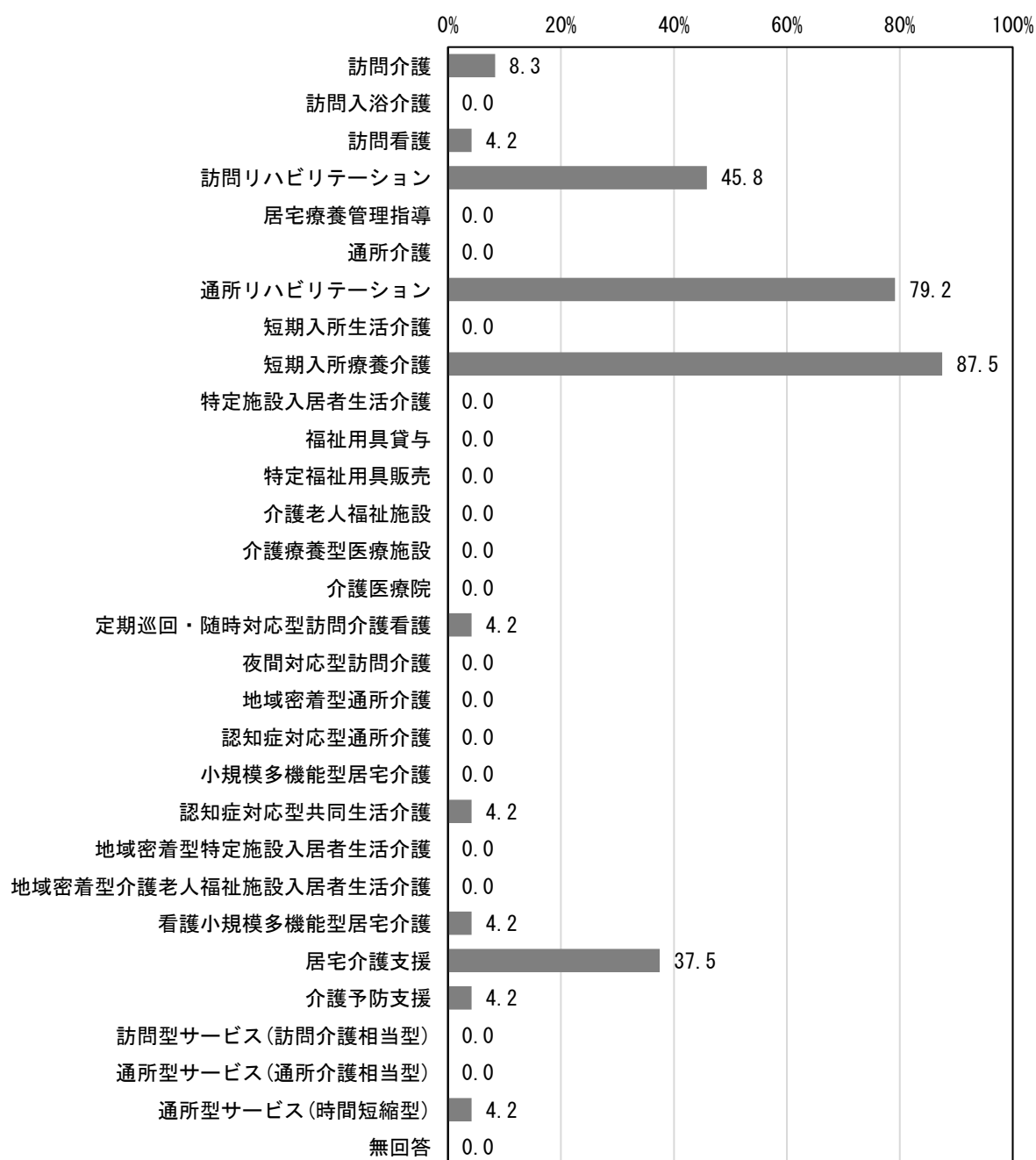
## 問1(5) 併設事業所の提供している介護保険サービス

[複数回答]

併設事業所がある場合、併設する事業所が提供している介護保険サービスについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

併設事業所の提供している介護保険サービスについては、「短期入所療養介護」が87.5%と最も高く、次いで、「通所リハビリテーション」が79.2%となっている。

図表16-1-5 併設事業所の提供している介護保険サービス (N=24)



## 問2 サービスの提供状況等について

### 問2（1） 施設の定員及び入所者数

施設の定員及び入所者の状況についてお答えください。  
短期入所生活介護分は含めないでください。

令和元年11月1日現在の施設の定員については2,005人、入所者数は2,133人、そのうち札幌市外の介護保険被保険者は215人となっている。

要介護度については、「要介護4」が24.1%と最も高く、次いで、「要介護3」が20.6%となっている。

図表16-2-1 施設の定員及び入所者数 (N=24)

区分	【令和元年11月1日現在】		
	全体	構成比 (%)	うち、札幌市外の 介護保険被保険者
定員 (人)	2,005		
ユニット数 (ユニット)	32		
入所(居)者数 (人)	2,133		215
要介護1 (人)	393	18.4	47
要介護2 (人)	393	18.4	54
要介護3 (人)	440	20.6	38
要介護4 (人)	514	24.1	45
要介護5 (人)	295	13.8	31
その他(経過措置含む) (人)	98	4.6	0

## 問 2（2） 入所者全員の入所前の状況

「平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 10 月 31 日までの 1 年間における入所者全員」の入所前の状況の人数についてお答えください。

入所者全員の入所前の状況については、「病院・診療所など（医療保険適用）」が 1,447 人と最も多くなっている。

要介護度については、「要介護 2」が 686 人と最も多くなっている。

図表16-2-2 入所者全員の入所前の状況 (N=24)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
居宅 (人)	381	360	280	135	51	1,207
ケアハウス・軽費老人ホーム (人)	1	4	2	1	0	8
有料老人ホーム (人)	3	9	3	1	0	16
養護老人ホーム (人)	0	1	1	0	0	2
認知症高齢者グループホーム (人)	1	5	1	4	0	11
サービス付き高齢者向け住宅 (人)	4	5	3	1	0	13
介護老人福祉施設 (人)	5	8	8	5	1	27
介護老人保健施設 (人)	9	14	11	3	4	41
病院・診療所等 (介護保険適用) (人)	0	0	0	0	0	0
病院・診療所等 (医療保険適用) (人)	216	274	341	410	206	1,447
介護医療院 (人)	0	0	0	0	0	0
その他 (人)	3	6	5	3	3	20
合計 (人)	623	686	655	563	265	2,792

【⑩ 介護老人保健施設】

問 2 (3) 退所者全員の退所後の状況

「平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 10 月 31 日までの 1 年間における退所者全員」の退所後の状況の人数についてお答えください。

退所者全員の退所後の状況については、「病院・診療所等（医療保険適用）」が 1,125 人と最も多くなっている。

要介護度については、「要介護 2」が 617 人と最も多くなっている。

図表16-2-3 退所者全員の退所後の状況 (N=24)

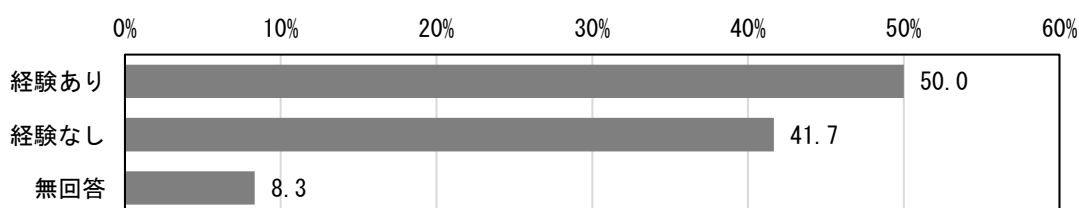
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
居宅 (人)	360	327	263	130	45	1,125
ケアハウス・軽費老人ホーム (人)	2	5	1	1	1	10
有料老人ホーム (人)	13	18	12	14	2	59
養護老人ホーム (人)	4	2	4	4	2	16
認知症高齢者グループホーム (人)	24	20	14	9	2	69
サービス付き高齢者向け住宅 (人)	33	26	12	7	2	80
介護老人福祉施設 (人)	3	6	40	77	18	144
介護老人保健施設 (人)	8	5	3	3	0	19
病院・診療所等 (介護保険適用) (人)	0	1	0	3	2	6
病院・診療所等 (医療保険適用) (人)	130	189	237	309	160	1,025
介護医療院 (人)	0	0	0	0	0	0
死亡 (人)	5	14	9	33	44	105
その他 (人)	3	4	1	3	1	12
合計 (人)	585	617	596	593	279	2,670

## 問2（4） ターミナルケアの取り組み経験

余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

ターミナルケアの取り組み経験については、「経験あり」が50.0%、「経験なし」が41.7%となっている。

図表14-2-4 ターミナルケアの取り組み経験 (N=24)

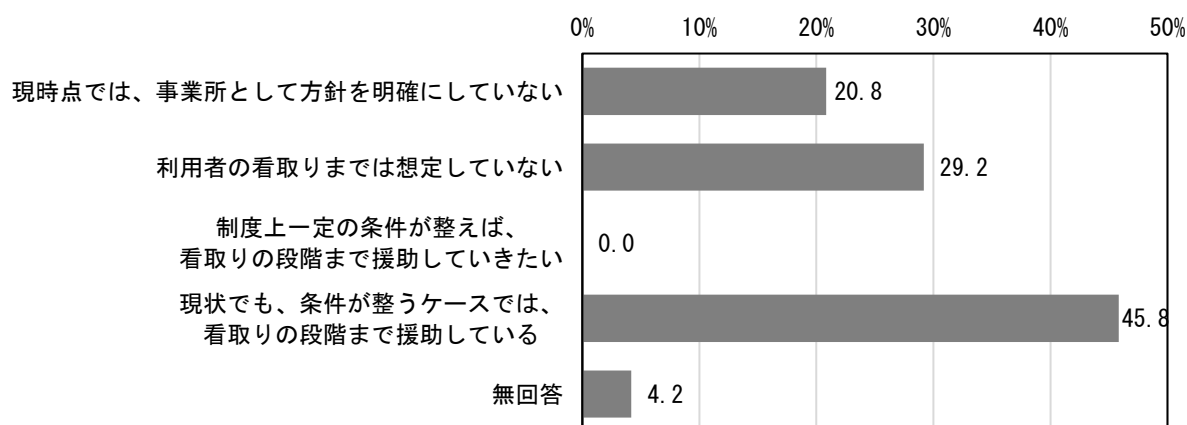


## 問2（5） ターミナルケアについての考え

ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

ターミナルケアについての考えは、「現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している」が45.8%と最も高く、次いで、「入居者の看取りまでは想定していない」が29.2%となっている。

図表16-2-5 ターミナルケアについての考え (N=24)



問2（6）ターミナルケアを可能とするための必要条件

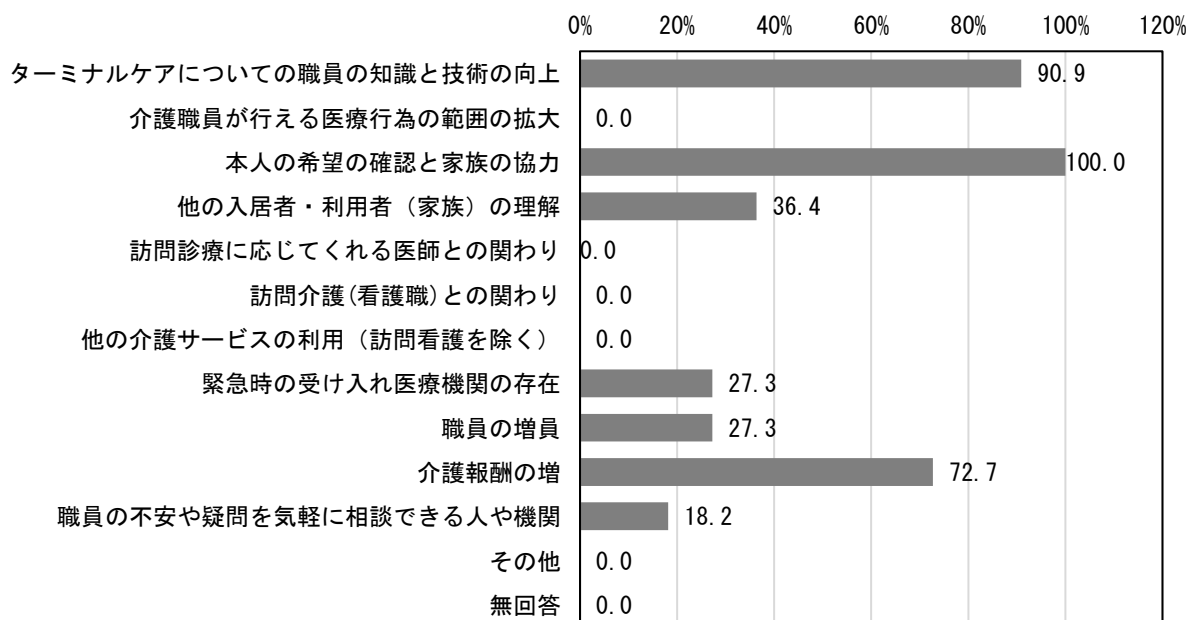
【複数回答】

（5）で「3. 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい」または「4. 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している」と答えた事業者にお聞きします。

ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

ターミナルケアを可能とするための必要条件については、「本人の希望の確認と家族の協力」が100.0%と最も高く、次いで、「ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上」が90.9%、「介護報酬の増」が72.7%となっている。

図表16-2-6 ターミナルケアを可能とするための必要条件（N=11）





### 問 3 施設の運営について

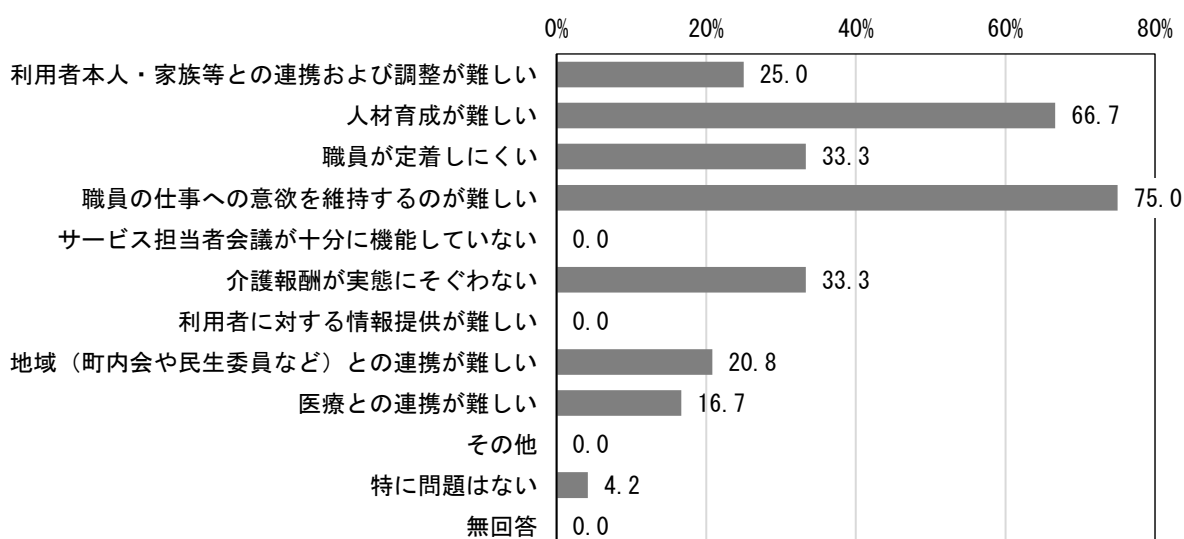
#### 問 3 (1) 施設運営に関する問題点

[複数回答]

施設運営に関する問題点はどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

施設運営に関する問題点については、「職員の仕事への意欲を維持するのが難しい」が75.0%と最も高く、次いで、「人材育成が難しい」が66.7%、「職員が定着しにくい」、「介護報酬が実態にそぐわない」が33.3%となっている。

図表16-3-1 事業所運営に関する問題点 (N=24)



【⑩ 介護老人保健施設】

「6. 介護報酬が実態にそぐわない」に○をつけた事業者にのみお聞きします。その理由は何ですか。具体的な理由や状況をお書き下さい。

主な意見を抜粋し以下に掲載した。

図表16-3-2 介護報酬が実態にそぐわない理由

記述内容
基準配置以上にはあるが、「働き方改革」等により厚く人員配置をせざるを得ない。収支のバランスがとれていない実態あり。
良質な人材確保には一定以上の給与・保障が必要。原資となる介護報酬のベースが低いと感じる。設備投資、更新の担保もできない。

「8. 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい」「9. 医療との連携が難しい」に○をつけた事業者にのみお聞きします。その理由は何ですか。

主な意見を抜粋し以下に掲載した。

図表16-3-3 地域・医療との連携が難しい理由

記述内容
限られた職員での地域への関りを増やすのは難しい。
医療と施設では投薬のスタンスが違い過ぎる。医療はコストのために薬を出し過ぎ。
正確な医療情報が入ってこない
町内会と話をする機会を作ることが難しい。

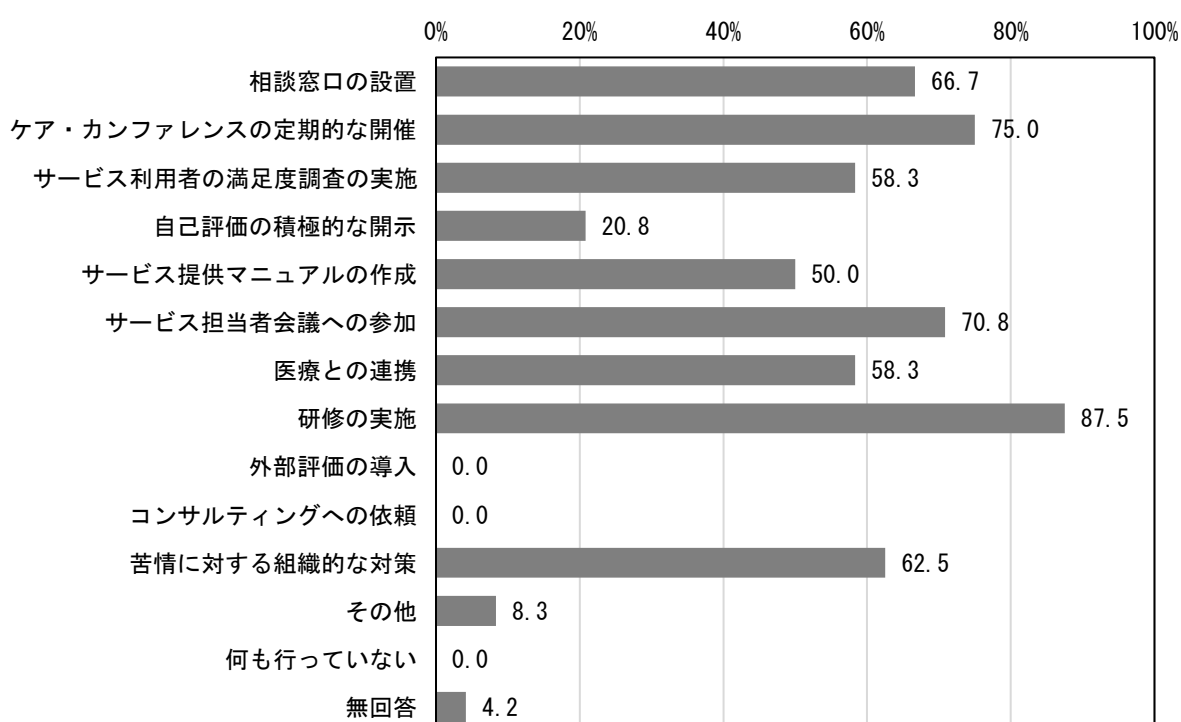
## 問3（2） サービスの質の向上のための取り組み

【複数回答】

サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

サービスの質の向上のための取り組みについては、「研修の実施」が87.5%と最も高く、次いで、「ケア・カンファレンスの定期的な開催」が75.0%、「サービス担当者会議への参加」が70.8%となっている。

図表16-3-4 サービスの質の向上のための取り組み (N=24)



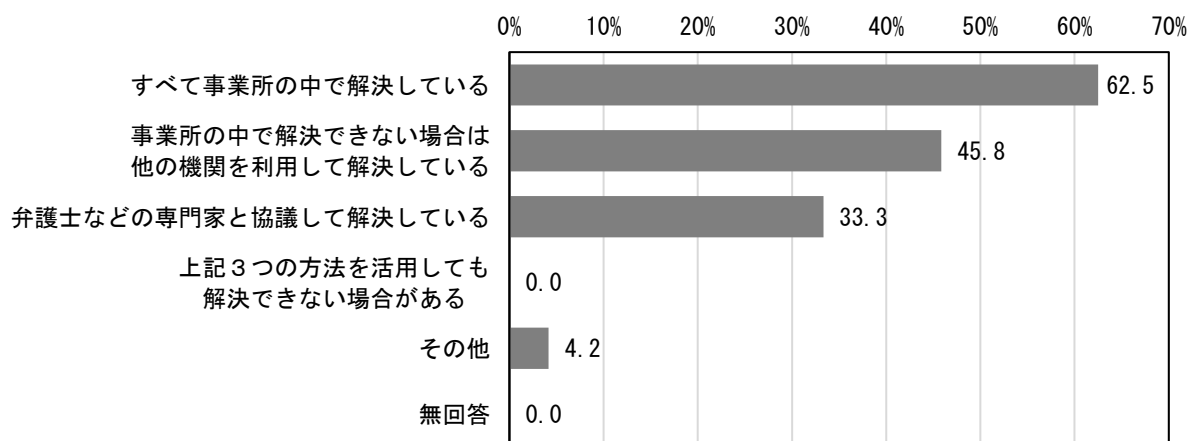
問3（3） サービス利用に関する苦情解決の方法

【複数回答】

サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

サービス利用に関する苦情解決の方法については、「すべて事業所の中で解決している」が62.5%と最も高く、次いで、「事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している」が45.8%となっている。

図表16-3-5 サービス利用に関する苦情解決の方法 (N=24)



「4. 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある」に○をつけた事業者のみお聞きします。解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書き下さい。

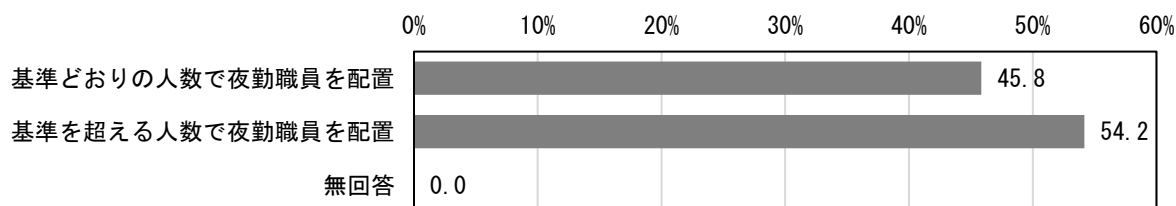
問3（3）で「上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある」と回答した施設はない。

### 問3（4） 夜間勤務体制

夜間勤務体制について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

夜間勤務体制については、「基準どおりの人数で夜勤職員を配置」が45.8%、「基準を超える人数で夜勤職員を配置」が54.2%となっている。

図表16-3-6 夜間勤務体制 (N=24)



### 問3（5） 夜間の人員体制

夜間の人員体制について、ご意見をご自由にお書き下さい。

主な意見を抜粋し以下に掲載した。

図表16-1-7 夜間勤務体制

記述内容
基準にない看護師を夜勤に当てている。医療的ケアの必要利用者が増えている。
コールセンサーを活用しているが、利用者の様態像の重度化が進み、身体的精神的負担が大きい。
ユニットケアでも夜勤基準は職員の負担感が高く、それを理由に離職する職員もいる。

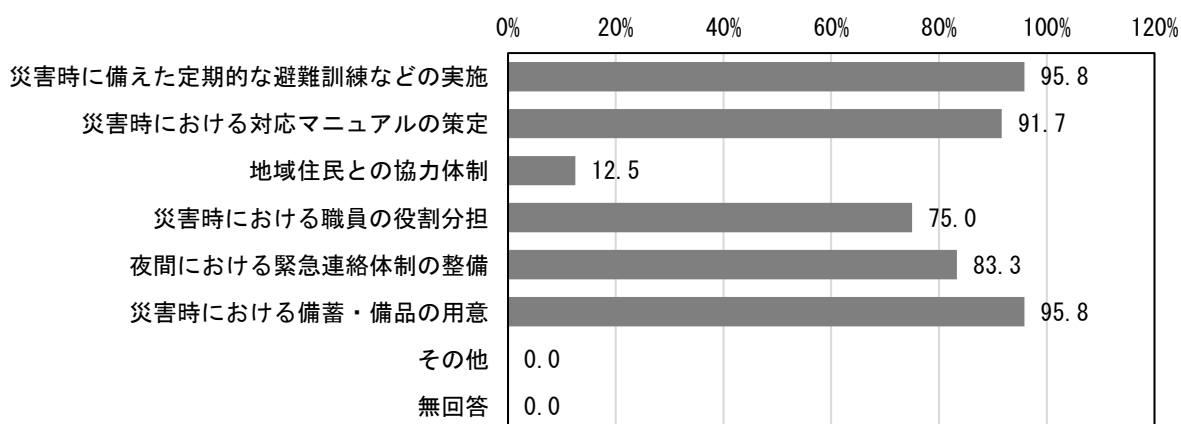
問3（6） 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの

【複数回答】

災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生の備えとして既に取り組んでいるものについては、「災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施」、「災害時における備蓄・備品の用意」が95.8%と最も高く、次いで「災害時における対応マニュアルの策定」が91.7%、「夜間における緊急連絡体制の整備」が83.3%となっている。

図表16-3-8 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの (N=24)

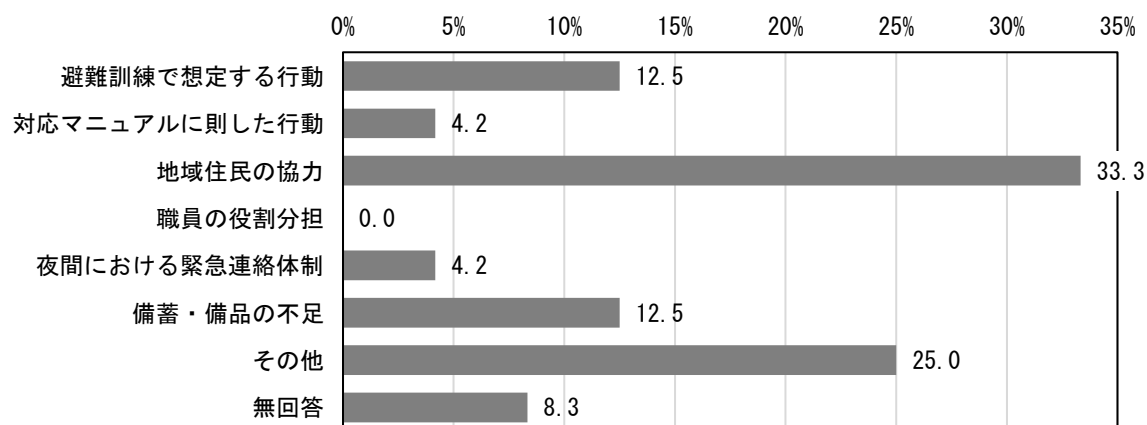


## 問3（7） 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの

災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいものについては、「地域住民の協力」が33.3%と最も高く、次いで、「その他」が25.0%、「避難訓練で想定する行動」、「備蓄・備品の不足」が12.5%となっている。

図表16-3-9 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの（N=24）



※「その他」には、「避難訓練で想定する行動」、「地域住民の協力」、「備蓄・備品の不足」等に複数回答したものを含む。

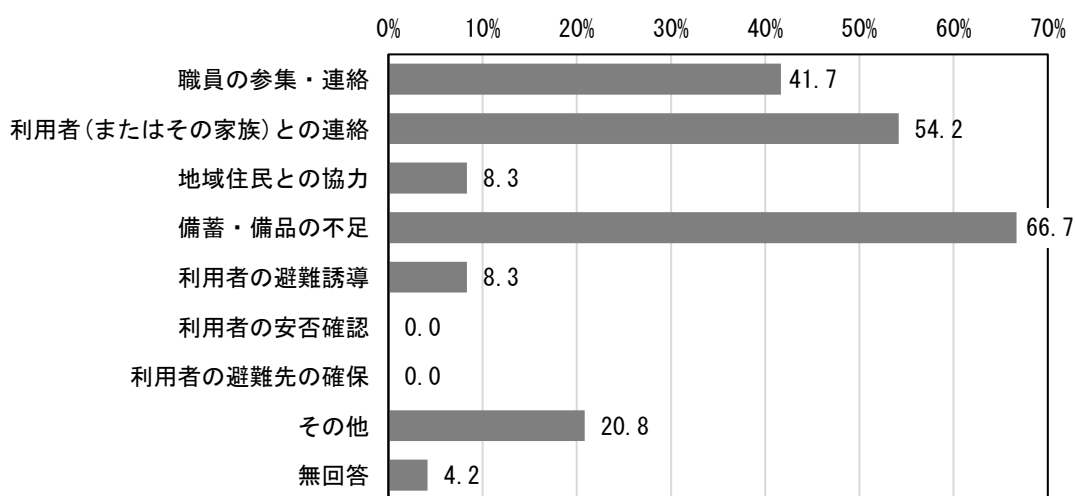
【⑩ 介護老人保健施設】

問3（8） 災害発生時に実際に困ったこと

災害発生時（主に昨年の北海道胆振東部地震）、実際に困ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生時、実際に困ったことについては、「備蓄・備品の不足」が66.7%と最も高く、次いで、「利用者（またはその家族）との連絡」が54.2%、「職員の参集・連絡」が41.7%となっている。

図表16-3-10 災害発生時に実際に困ったこと（N=24）





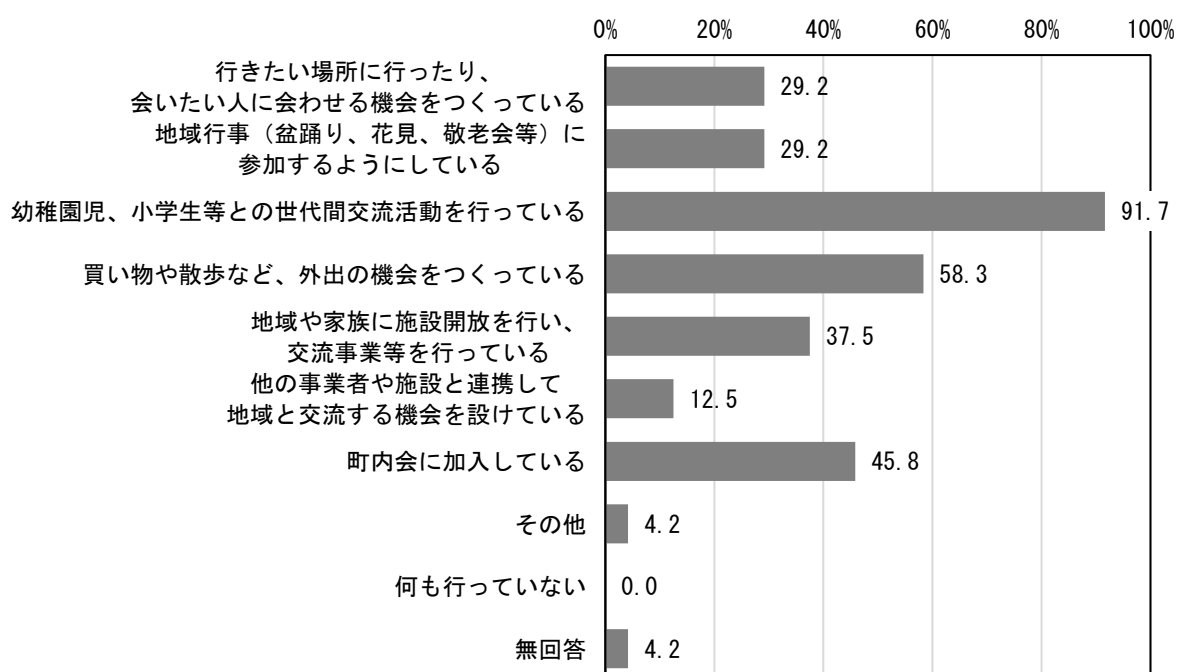
## 問3（9） 入所者と地域のつながりを確保するための工夫

【複数回答】

入所者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

入所者と地域のつながりを確保するための工夫については、「幼稚園児、小学生等との世代間交流活動を行っている」が91.7%と最も高く、次いで、「買い物や散歩など、外出の機会をつくっている」が58.3%、「町内会に加入している」が45.8%となっている。

図表16-3-11 利用者と地域のつながりを確保するための工夫（N=24）



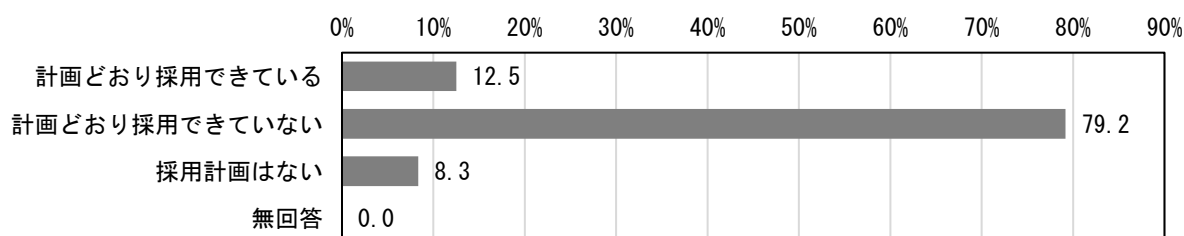
## 問4 職員への対応について

### 問4（1） 職員の採用および定着状況

過去1年間における職員の採用および定着状況はいかかですか。A・Bの質問について、採用状況・定着状況のそれぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

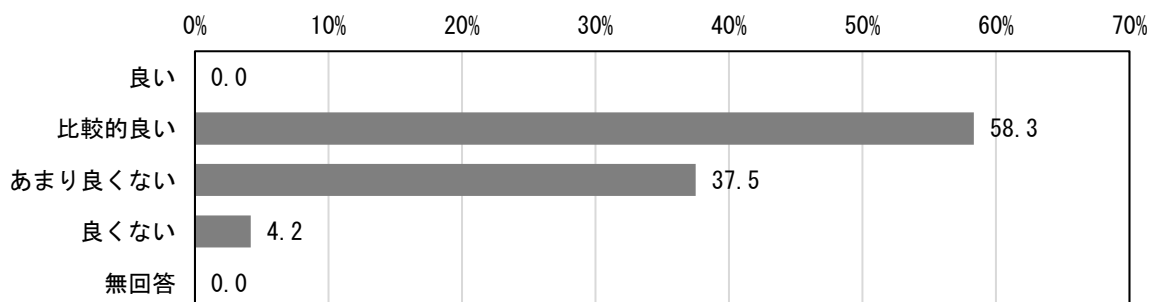
A. 常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できていない」が79.2%と最も高く、次いで、「計画どおり採用できている」が12.5%、「採用計画はない」が8.3%となっている。

図表16-4-1 A. 常勤職員の採用状況 (N=24)



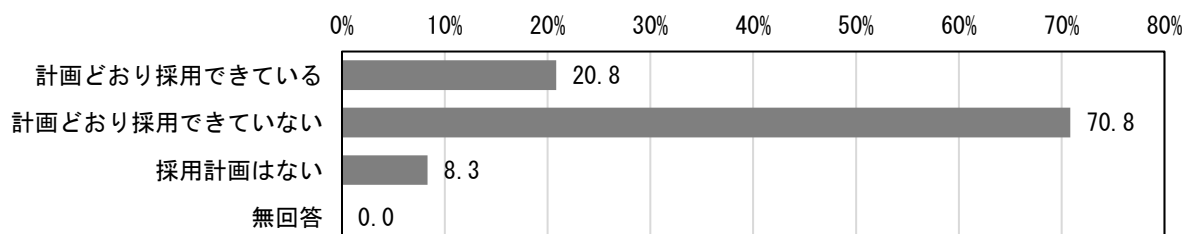
A. 常勤職員の定着状況については、「良い」と「比較的良い」を合わせた割合が58.3%となっており、「あまり良くない」と「良くない」を合わせた割合が41.7%となっている。

図表16-4-2 A. 常勤職員の定着状況 (N=24)



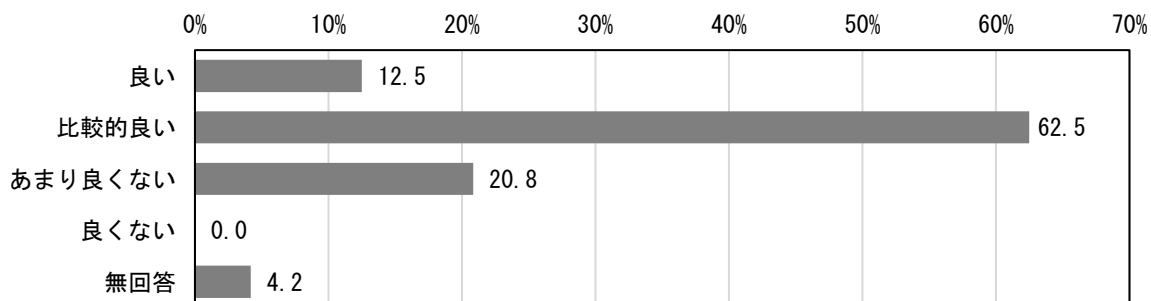
B. 非常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できていない」が70.8%と最も高く、次いで、「計画どおり採用できている」が20.8%、「採用計画はない」が8.3%となっている。

図表16-4-3 B. 非常勤職員の採用状況 (N=24)



B. 非常勤職員の定着状況については、「良い」と「比較的良い」を合わせた割合が75.0%となっており、「あまり良くない」と「良くない」を合わせた割合が20.8%となっている。

図表16-4-4 B. 非常勤職員の定着状況 (N=24)



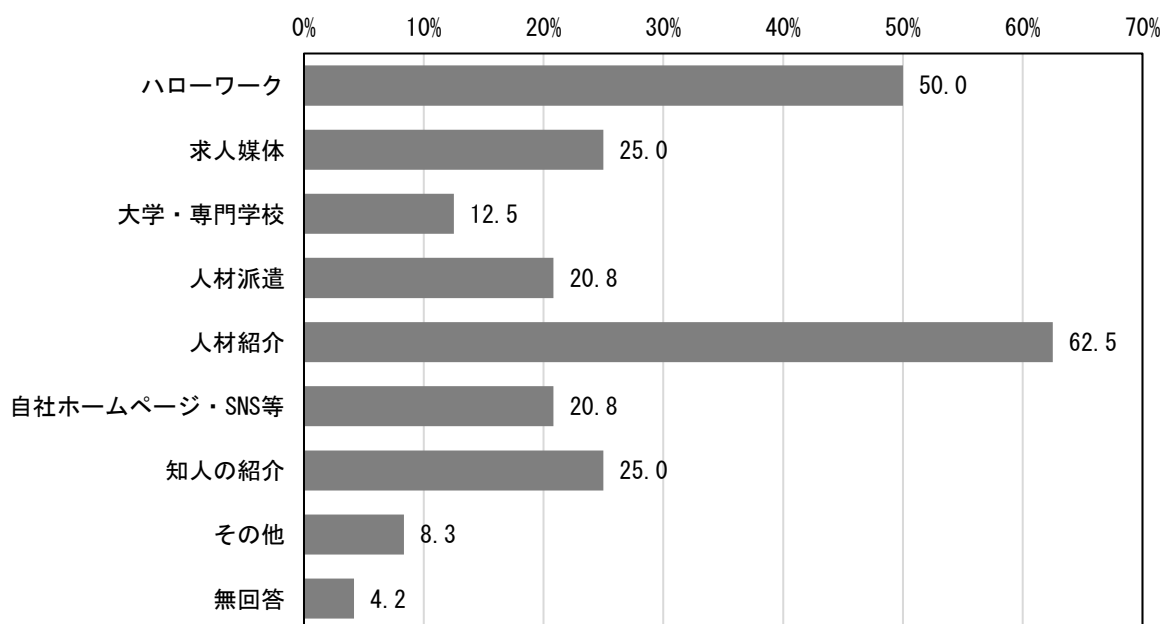
問4（1）－② 職員の募集に効果のあった方法

【複数回答】

職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

効果的な職員募集の方法については、「人材紹介」が62.5%と最も高く、次いで、「ハローワーク」が50.0%となっている。

図表16-4-5 職員募集に効果のあった方法 (N=24)



## 問4（1）－③ 介護サービスの職員数

ア 介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください。

介護サービスを提供する職員数の平均は44.5人となっている。

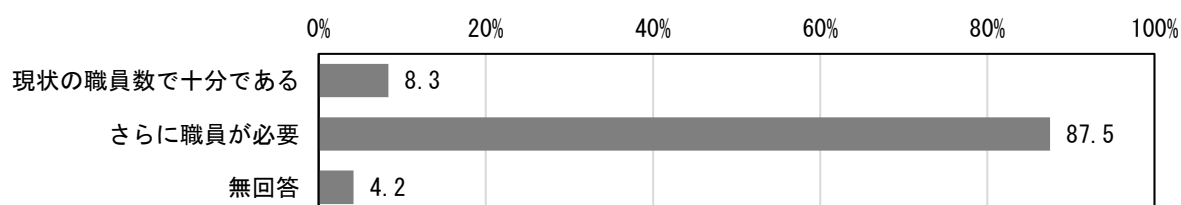
図表16-4-6 介護サービスを提供する職員数（常勤換算）

	平均値
職員数（人）	44.5

イ 望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけ、「2. さらに職員が必要」を選んだ場合は、必要な人数をご記入ください。

職員数に対する考え方については、「現状の職員数で十分である」が8.3%、「さらに職員が必要」が87.5%となっている。

図表16-4-7 職員数に対する考え方（N=24）



「2. さらに職員が必要」を選んだ場合の、さらに必要な職員数の平均は3.9人となっている。

図表16-4-8 さらに必要な職員数（常勤換算）

	平均値
必要な人数（人）	3.9

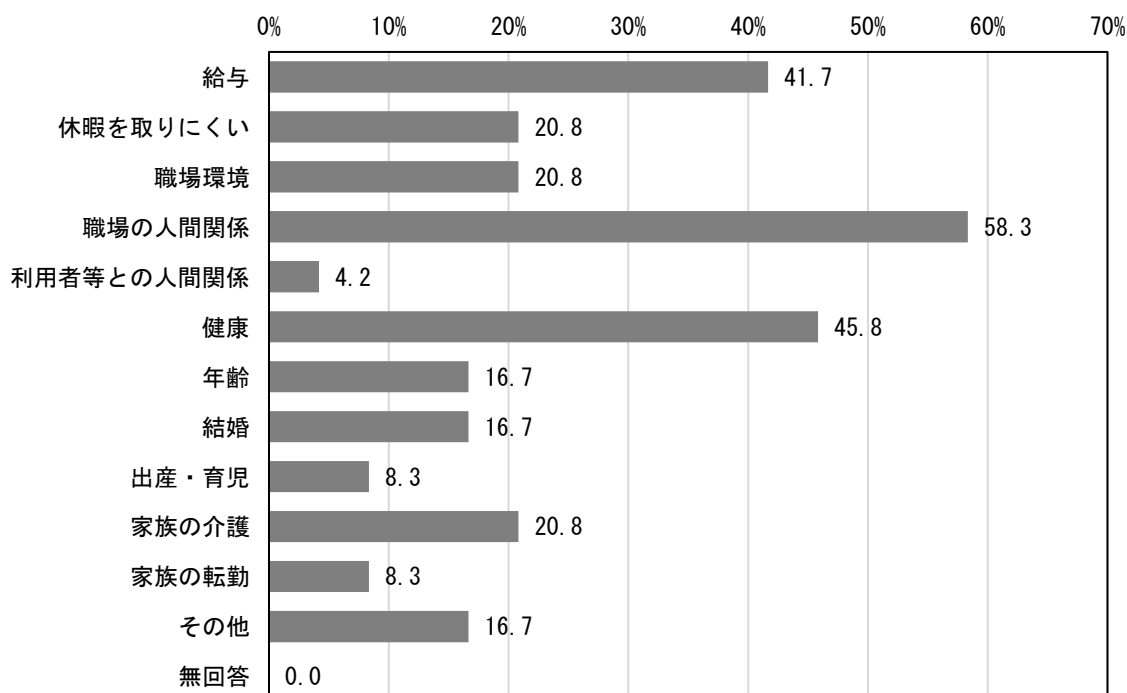
問4（2） 主な離職理由

[複数回答]

貴施設で、過去1年間に離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

主な離職理由については、「職場の人間関係」が58.3%と最も高く、次いで、「健康」が45.8%、「給与」が41.7%となっている。

図表16-4-9 主な離職理由 (N=24)



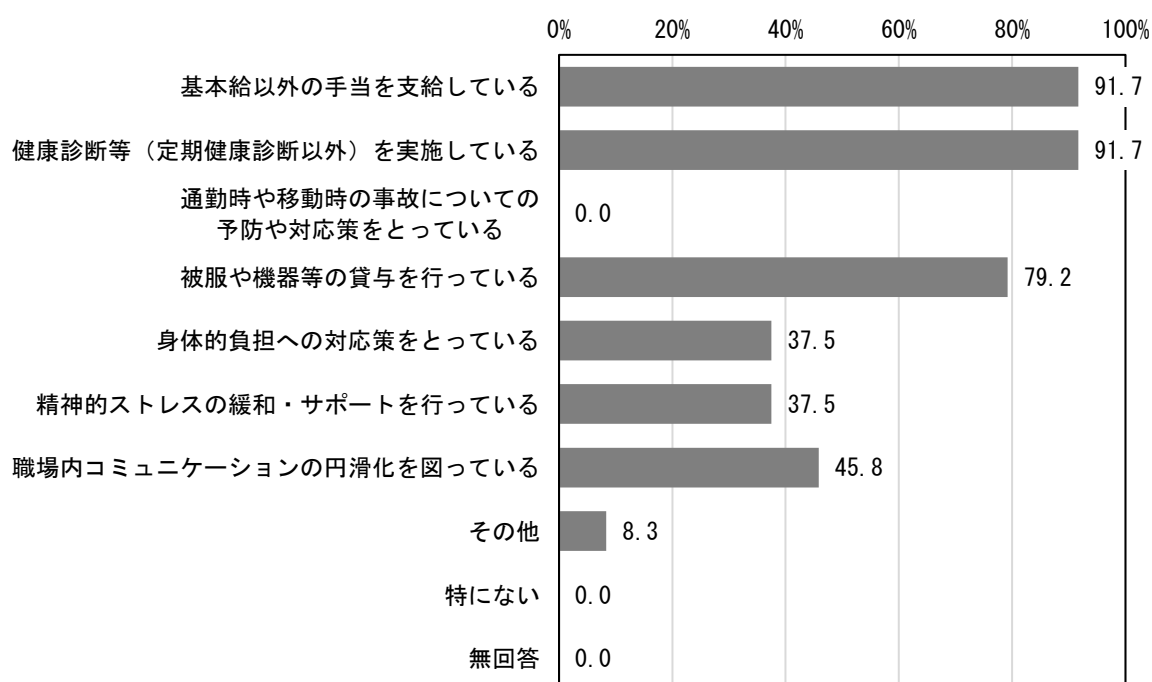
## 問 4 (3) 職員に対する配慮

[複数回答]

職員に対して、どのような配慮を行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に対する配慮については、「基本給以外の手当を支給している」、「健康診断等（定期健康診断以外）を実施している」が 91.7%と最も高く、次いで、「被服や機器等の貸与を行っている」が 79.2%となっている。

図表16-4-10 職員に対する配慮 (N=24)



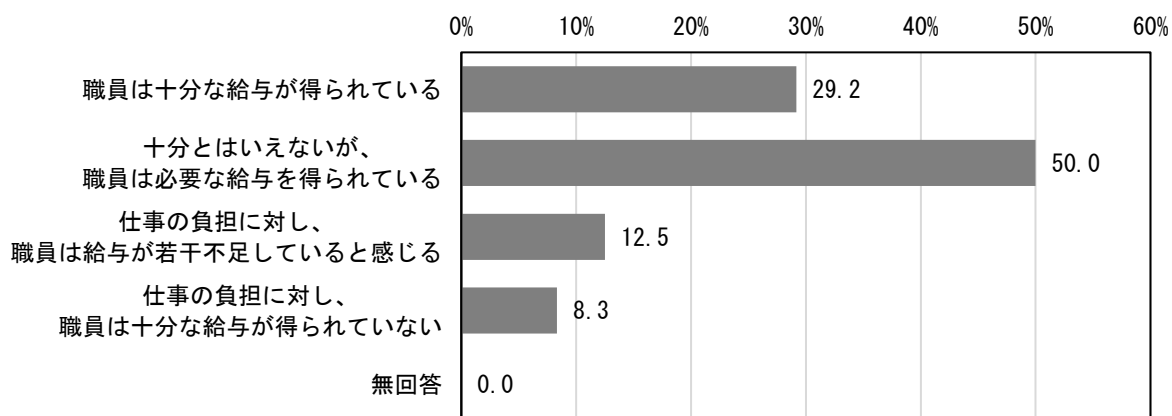
【⑩介護老人保健施設】

問4（4） 職員の給与

職員の給与についてどうお考えですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

職員の給与については、「十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている」が50.0%と最も高く、次いで、「職員は十分な給与を得られている」が29.2%となっている。

図表16-4-11 職員の給与 (N=24)





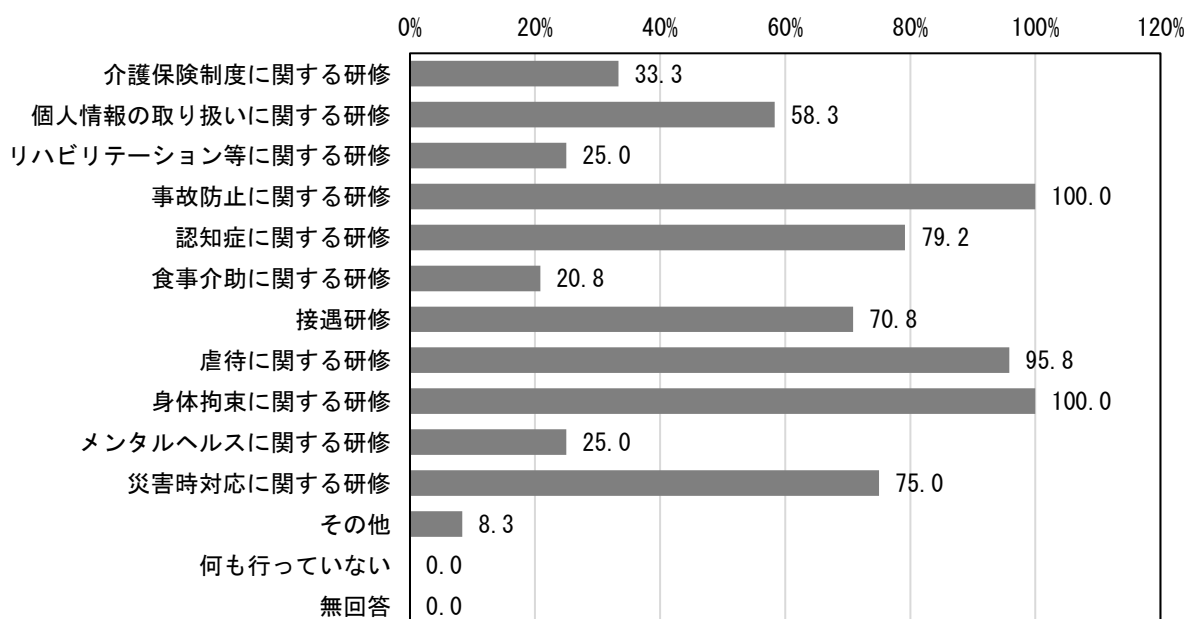
## 問4（5） 全職員を対象とした内部研修の実施

[複数回答]

全職員を対象に実施している内部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

全職員を対象とした内部研修の実施については、「事故防止に関する研修」、「身体拘束に関する研修」が100.0%と最も高く、次いで、「虐待に関する研修」、が95.8%、「認知症に関する研修」が79.2%となっている。

図表16-4-12 全職員を対象とした内部研修の実施 (N=24)



## 問4（6） 外部研修会等への職員の参加

外部研修会等へ職員を参加させていますか。あてはまるものに○をしてください。

外部研修会等への職員の参加については、全施設が「している」と回答している。

## 問4（7） 外部研修会等への参加をしていない理由

[複数回答]

(6)で「2. していない」と答えた方にお聞きします。  
外部研修会等への参加をしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

問4（6）で「していない」と回答した施設はない。

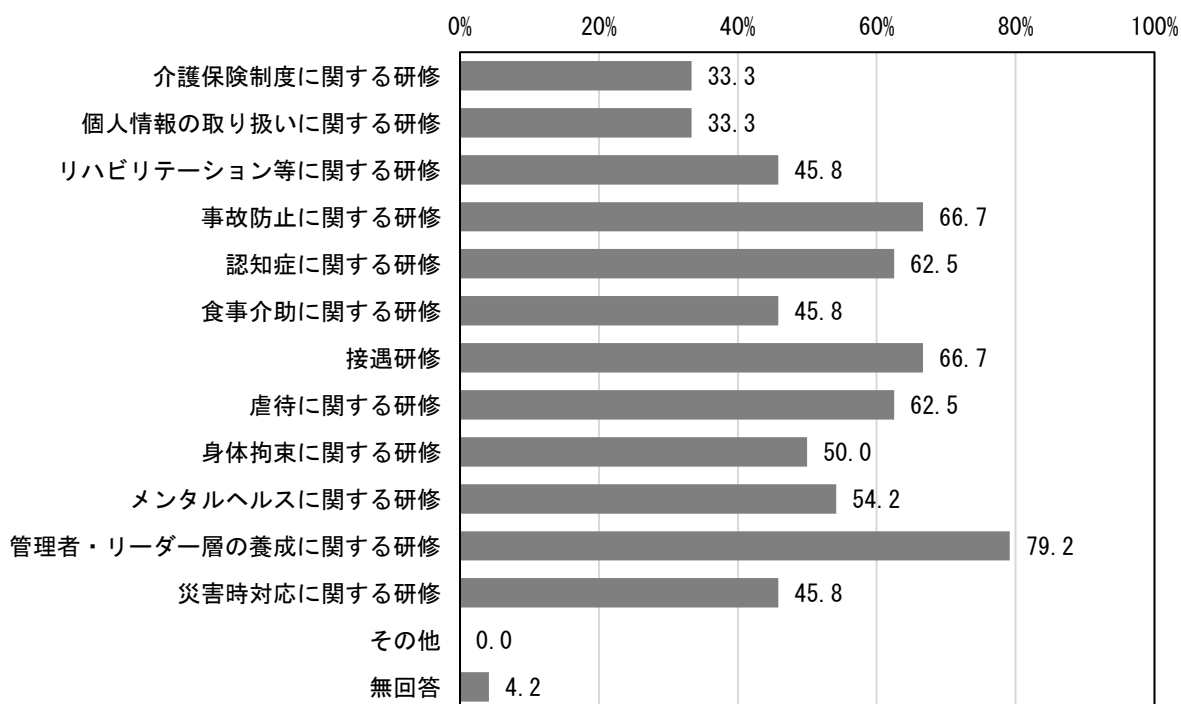
問 4（8） 職員に受けさせたい外部研修

[複数回答]

職員に受けさせたい外部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に受けさせたい外部研修については、「管理者・リーダー層の養成に関する研修」が79.2%と最も高く、次いで、「事故防止に関する研修」、「接遇研修」が66.7%となっている。

図表16-4-13 職員に受けさせたい外部研修 (N=24)

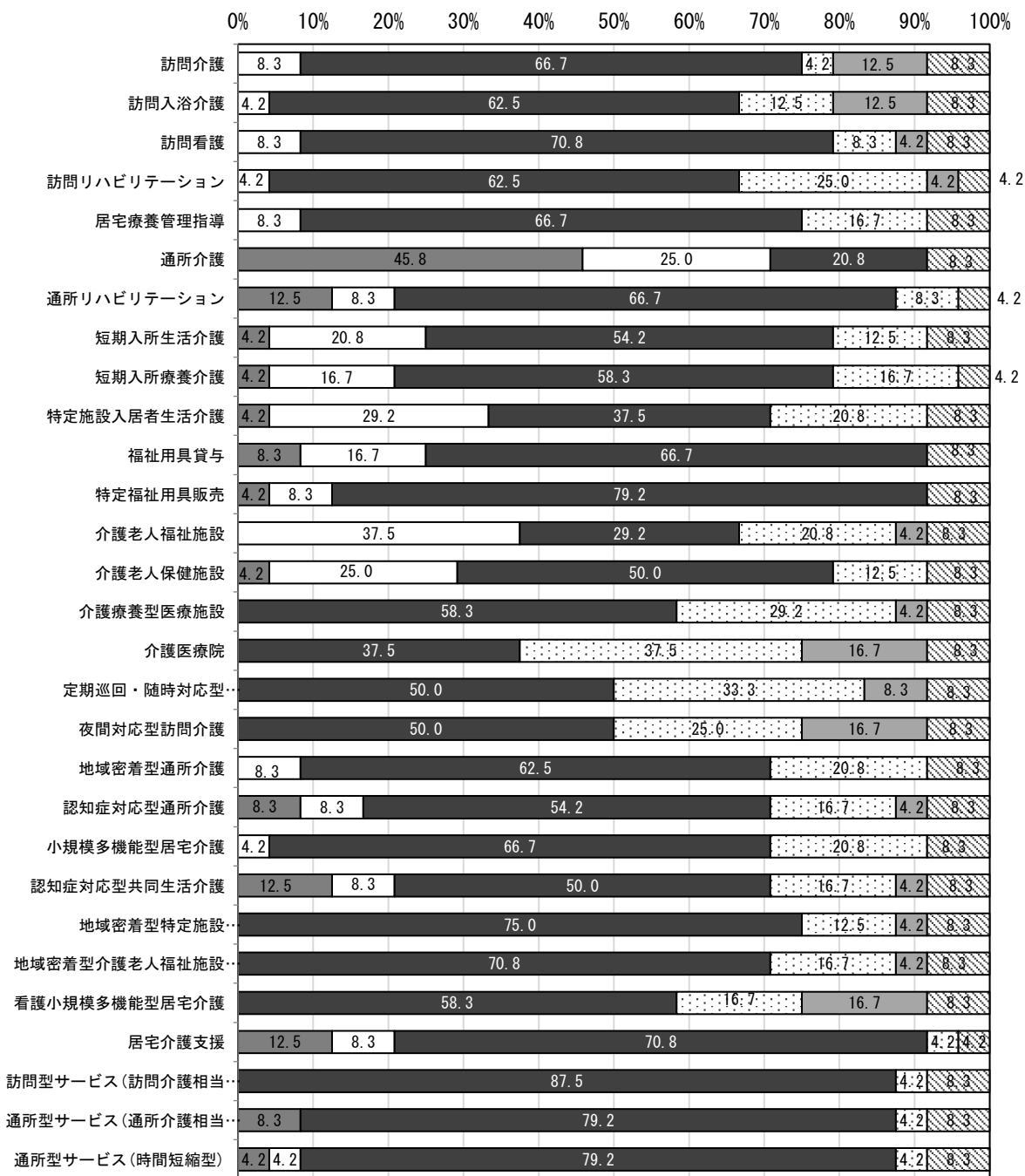


## 問5 事業所の過不足について

介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービスにつき1つに○をつけてください。

「多い」と「やや多い」を合わせた割合は、「通所介護」が70.8%と最も高く、「少ない」と「やや少ない」を合わせた割合は「介護医療院」が54.0%と最も高くなっている。

図表16-5-1 介護（予防）サービスの現状における事業所の過不足 (N=24)



■多い □やや多い ■どちらともいえない □やや少ない □少ない □無回答

【⑩ 介護老人保健施設】

## 問 6 介護報酬・職員体制・介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般等に対するご意見

介護報酬、職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策についてご自由にお書きください。

2 件 (8.3%) のご意見があった。(巻末資料参照)

## ⑰ 介護療養型医療施設

配布数 9/回収数 4/回収率 44.4%

### 問 1 医療施設について

#### 問 1 (1) 医療施設の経営形態

医療施設の経営形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

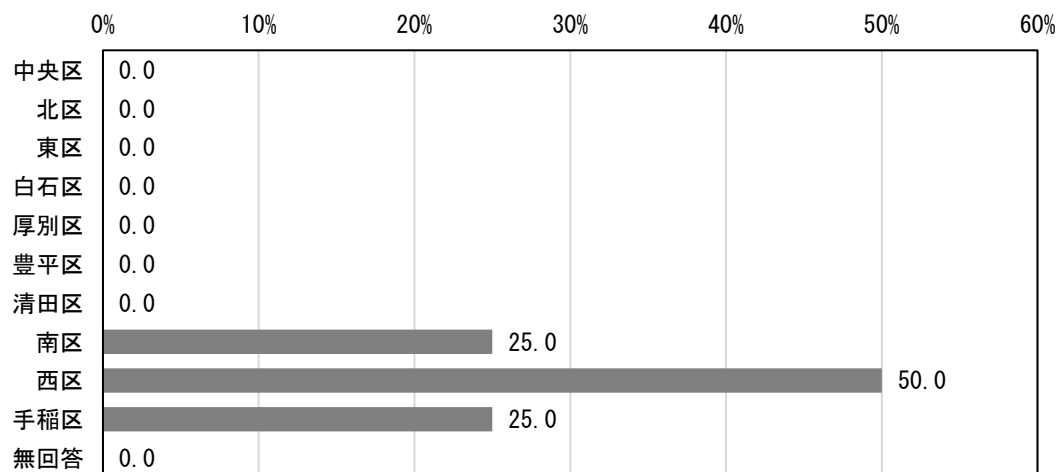
医療施設の経営形態については、全医療施設が「医療法人」となっている。

#### 問 1 (2) 医療施設の所在地

医療施設の所在地について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

医療施設の所在地については、「西区」が2施設、「南区」、「手稲区」が1施設となっている。

図表17-1-1 医療施設の所在地 (N=4)



## 問 2 サービスの提供状況等について

### 問 2 (1) 医療施設の種類ごとの病床数

貴施設を運営している医療施設の種類ごとの病床数をお答えください。該当する病床がない場合は「0」とお書きください。

施設を運営している病床数は、施設全体で 616 床、そのうち介護保険適用が 182 床、医療保険適用が 434 床となっている。

医療施設の種類別にみると、病院の療養病床が 62.0%と最も高くなっている。

図表17-2-1 医療施設の種類ごとの病床数 (N=4)

医療施設・病床の種類		介護保険適用 (床)	医療保険適用 (床)	合計	
				病床数 (床)	割合 (%)
病院	療養病床	182	434	616	62.0
	一般病床	0	199	199	20.0
	精神病床	0	178	178	17.9
	結核病床	0	0	0	0.0
診療所	療養病床	0	0	0	0.0
	一般病床	0	0	0	0.0
合計		182	811	993	100.0

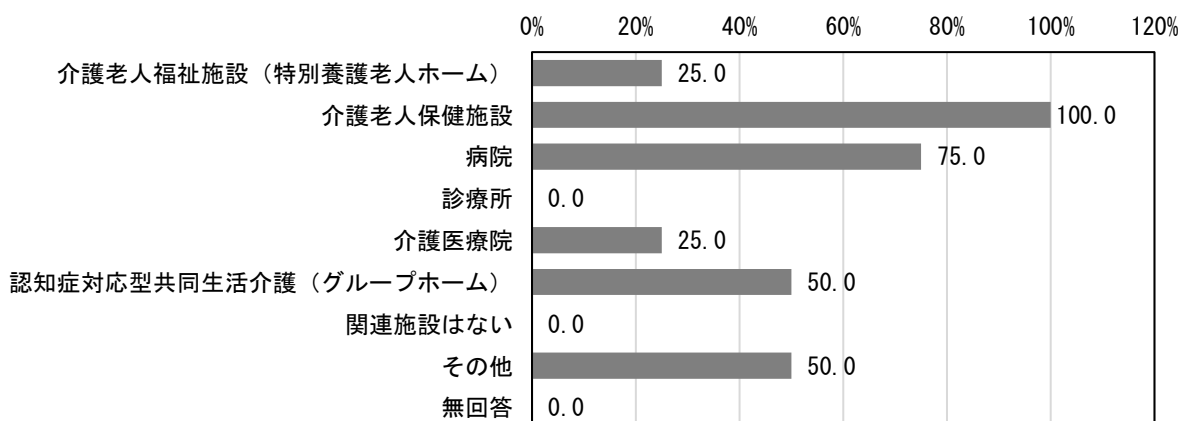
## 問2（2） 関連施設の種類

[複数回答]

貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

関連施設の種類については、「介護老人保健施設」が全施設、次いで、「病院」が3施設となっている。

図表17-2-2 関連施設の種類 (N=4)



【⑰ 介護療養型医療施設】

問 2（3） 入所者全員の入所前の状況

「平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 10 月 31 日までの 1 年間における入所者全員」の入所前の状況の人数についてお答えください。

入所者全員の入所前の状況については、「病院・診療所など（医療保険適用）」が 99 人と最も多くなっている。

要介護度については、「要介護 4」が 68 人と最も多くなっている。

図表17-2-3 入所者全員の入所前の状況 (N=4)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
居宅 (人)	0	0	0	0	0	0
ケアハウス・軽費老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
有料老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
養護老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
認知症高齢者グループホーム (人)	0	0	0	0	0	0
サービス付き高齢者向け住宅 (人)	0	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設 (人)	0	1	2	3	4	10
介護老人保健施設 (人)	0	0	1	13	2	16
病院・診療所等 (介護保険適用) (人)	0	0	1	1	0	2
病院・診療所等 (医療保険適用) (人)	0	2	7	51	39	99
介護医療院 (人)	0	0	0	0	0	0
その他 (人)	0	0	0	0	0	0
合計 (人)	0	3	11	68	45	127



## 問 2（4） 退所者全員の退所後の状況

「平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 10 月 31 日までの 1 年間における退所者全員」の退所後の状況の人数についてお答えください。

退所者全員の退所後の状況については、「病院・診療所等(医療保険適用)」が 51 人と最も多くなっている。

要介護度については、「要介護 4」が 50 人と最も多くなっている。

図表17-2-4 退所者全員の退所後の状況 (N=4)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
居宅 (人)	0	0	0	0	0	0
ケアハウス・軽費老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
有料老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
養護老人ホーム (人)	0	0	1	2	0	3
認知症高齢者グループホーム (人)	0	1	0	0	0	1
サービス付き高齢者向け住宅 (人)	0	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設 (人)	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設 (人)	0	0	0	0	0	0
病院・診療所等 (介護保険適用) (人)	0	0	1	0	0	1
病院・診療所等 (医療保険適用) (人)	0	0	2	28	21	51
介護医療院 (人)	0	0	0	0	0	0
死亡 (人)	0	0	2	20	25	47
その他 (人)	0	0	0	0	0	0
合計 (人)	0	1	6	50	46	103

### 問 3 医療施設の運営について

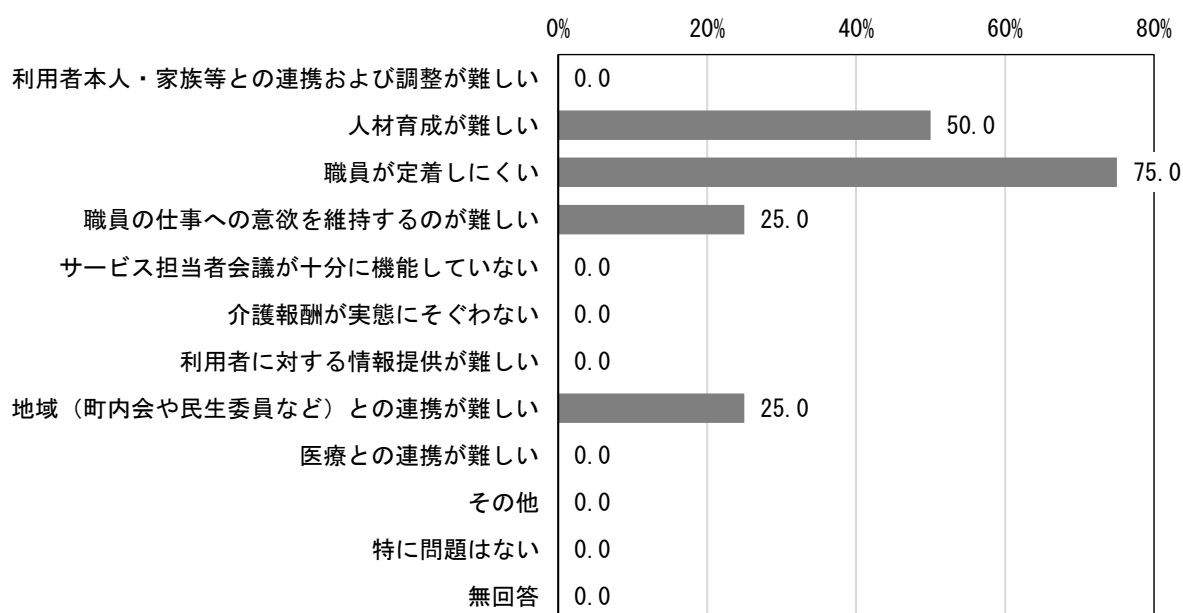
#### 問 3 (1) 医療施設運営に関する問題点

[複数回答]

医療施設運営に関する問題点はどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

医療施設運営に関する問題点については、「職員が定着しにくい」が3施設、「人材育成が難しい」が2施設、「職員の仕事への意欲を維持するのが難しい」、「地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい」が1施設となっている。

図表17-3-1 事業所運営に関する問題点 (N=4)



「6. 介護報酬が実態にそぐわない」に○をつけた事業者にのみお聞きします。その理由は何ですか。具体的な理由や状況をお書き下さい。

問3（1）で「6. 介護報酬が実態にそぐわない」と回答した医療施設はない。

「8. 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい」「9. 医療との連携が難しい」に○をつけた事業者にのみお聞きします。その理由は何ですか。

回答のあった意見は以下の通り。

図表17-3-2 地域・医療との連携が難しい理由

記述内容
病院の介護施設のため地域との交流が少ない。今後地域交流の検討を図りたい。

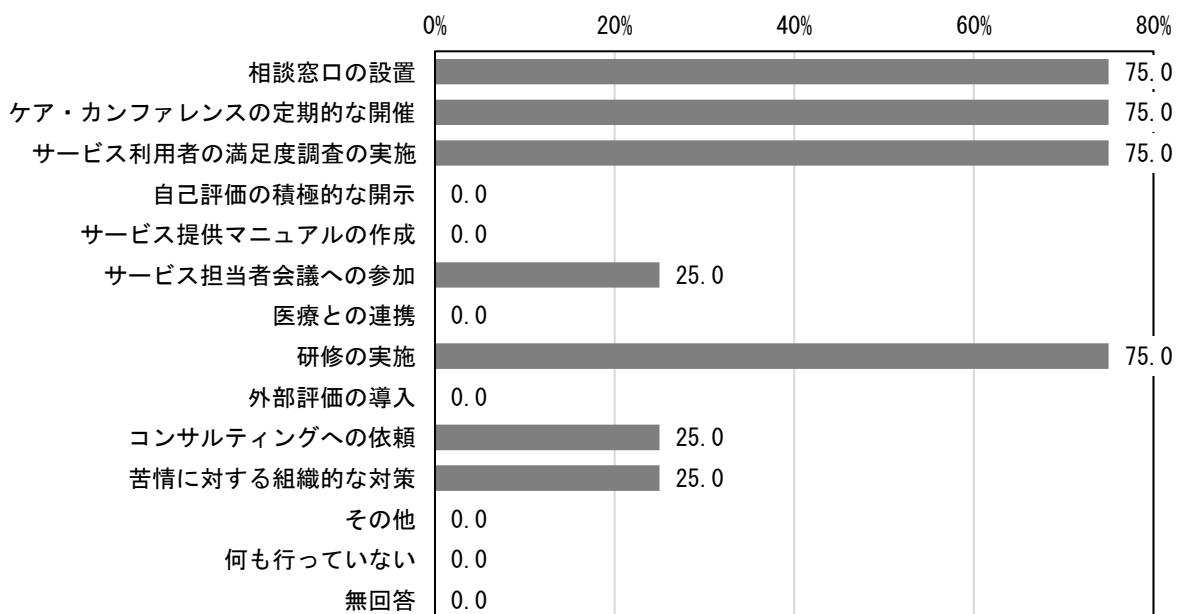
問3（2） サービスの質の向上のための取り組み

[複数回答]

サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

サービスの質の向上のための取り組みについては、「相談窓口の設置」、「ケア・カンファレンスの定期的な開催」、「サービス利用者の満足度調査の実施」、「研修の実施」が4施設とも最も高くなっている。

図表17-3-3 サービスの質の向上のための取り組み (N=4)



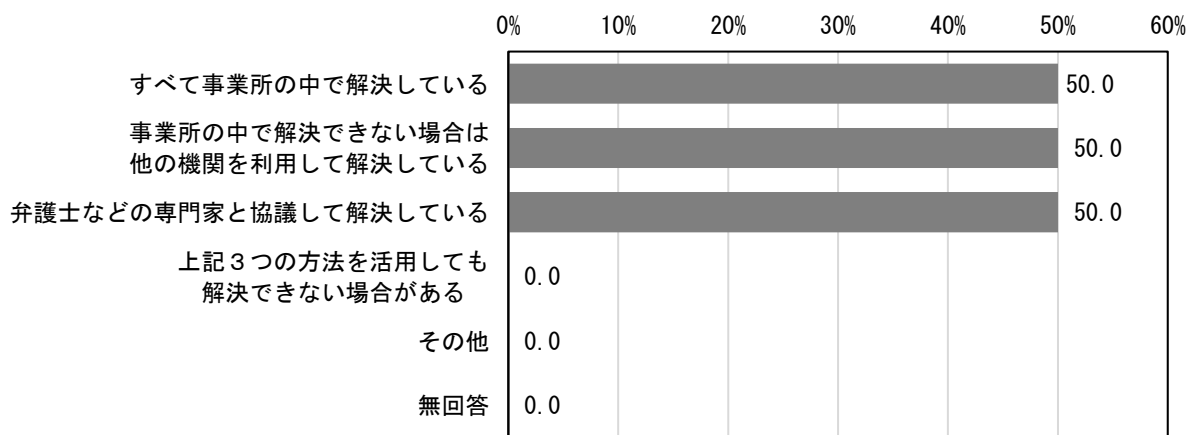
問3（3） サービス利用に関する苦情解決の方法

【複数回答】

サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

サービス利用に関する苦情解決の方法については、「すべて事業所の中で解決している」、「事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している」、「弁護士などの専門家と協議して解決している」がそれぞれ2施設となっている。

図表17-3-4 サービス利用に関する苦情解決の方法 (N=4)



「4. 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある」に○をつけた事業者にのみお聞きします。解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書き下さい。

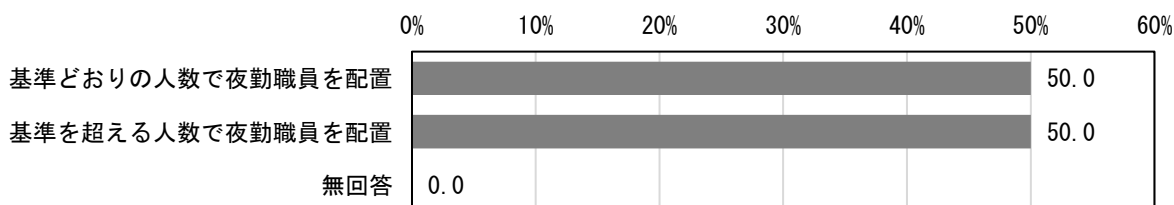
問3（3）で「上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある」と回答した医療施設はない。

## 問3（4） 夜間勤務体制

夜間勤務体制について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

夜間勤務体制については、「基準どおりの人数で夜勤職員を配置」、「基準を超える人数で夜勤職員を配置」がそれぞれ2施設となっている。

図表17-3-5 夜間勤務体制 (N=4)



## 問3（5） 夜間の人員体制

夜間の人員体制について、ご意見をご自由にお書き下さい。

具体的な内容の回答は以下の通り。

図表17-3-6 地域・医療との連携が難しい理由

記述内容
今後、急性期病院からの受け入れ、看取りへの支援、生活の場としての支援に対応していくためには、現在の配置人員では対応困難と思われる看護・介護の人員配置の増員を希望します。

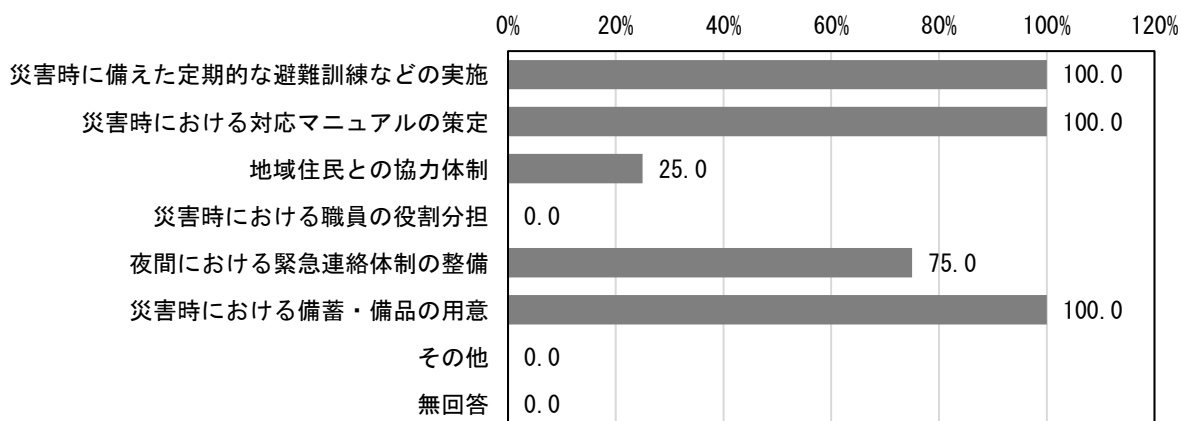
問3（6） 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの

〔複数回答〕

災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生の備えとして既に取り組んでいるものについては、「災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施」、「災害時における対応マニュアルの策定」、「災害時における備蓄・備品の用意」が全施設、「夜間における緊急連絡体制の整備」が3施設となっている。

図表17-3-7 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの (N=4)

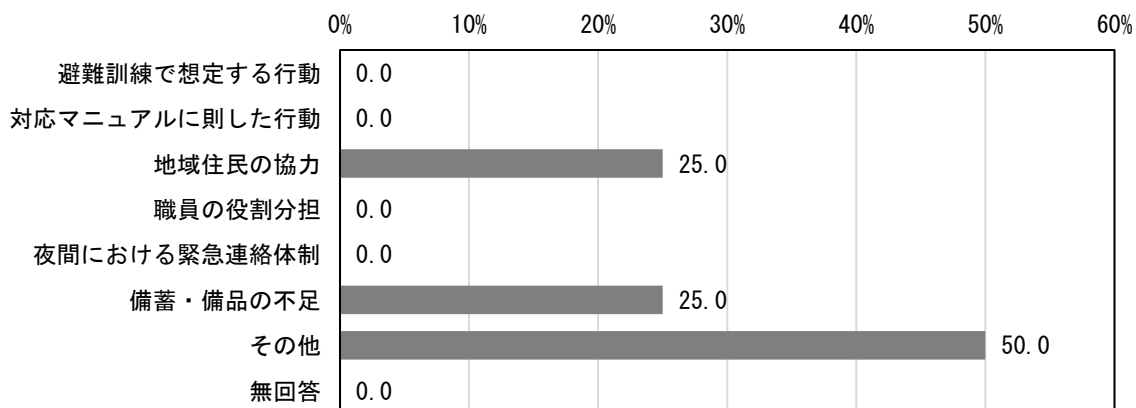


問3（7） 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの

災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいものについては、「地域住民の協力」、「備蓄・備品の不足」がそれぞれ1施設となっている。

図表17-3-8 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの (N=4)



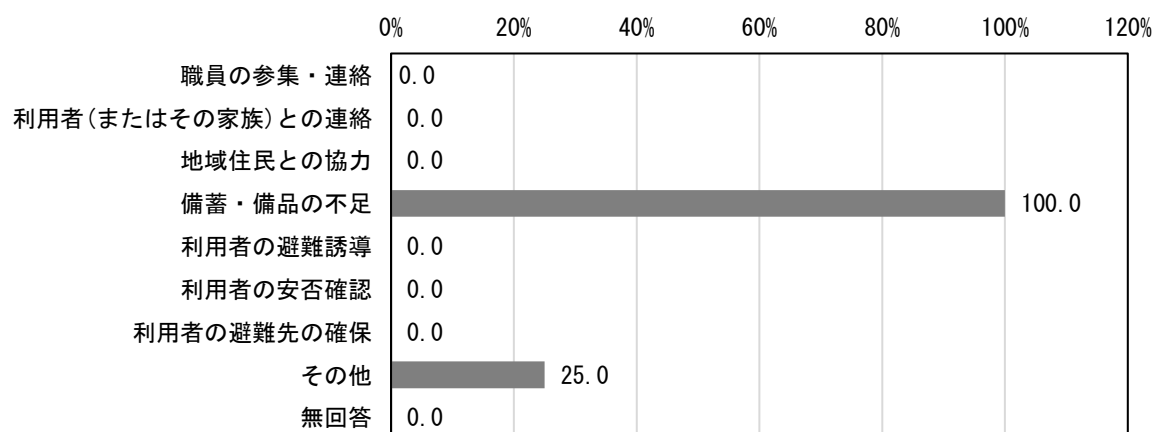
※「その他」には、「避難訓練で想定する行動」、「地域住民の協力」、「備蓄・備品の不足」等に複数回答したものを含む。

## 問3（8） 災害発生時に実際に困ったこと

災害発生時（主に昨年の北海道胆振東部地震）、実際に困ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生時、実際に困ったことについては、「備蓄・備品の不足」が全施設、「その他」が1施設となっている。

図表17-3-9 災害発生時に実際に困ったこと (N=4)



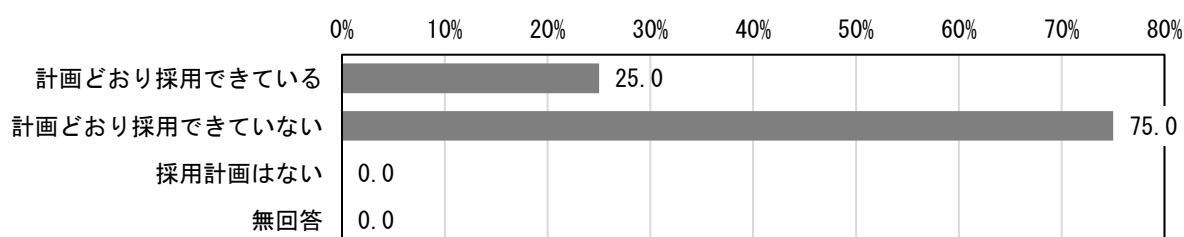
## 問 4 職員への対応について

### 問 4 (1) 職員の採用および定着状況

過去1年間における職員の採用および定着状況はいかかですか。A・Bの質問について、採用状況・定着状況のそれぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

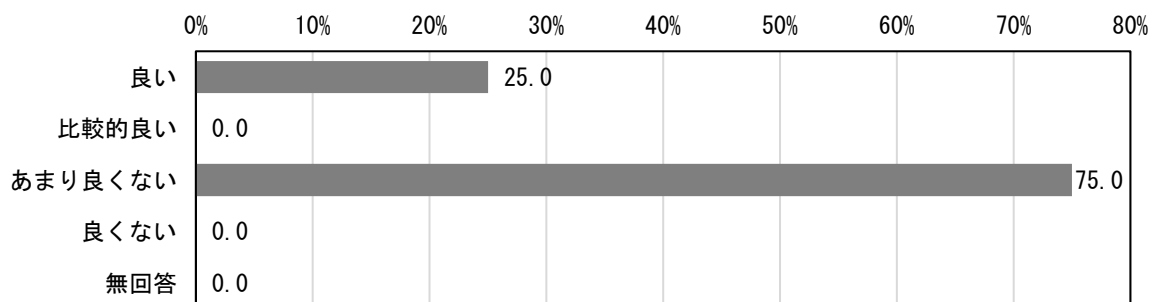
A. 常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できていない」が3施設、「計画どおり採用できている」が1施設となっている。

図表17-4-1 A. 常勤職員の採用状況 (N=4)



A. 常勤職員の定着状況については、「良い」と「比較的良い」が1施設、「あまり良くない」が3施設となっている。

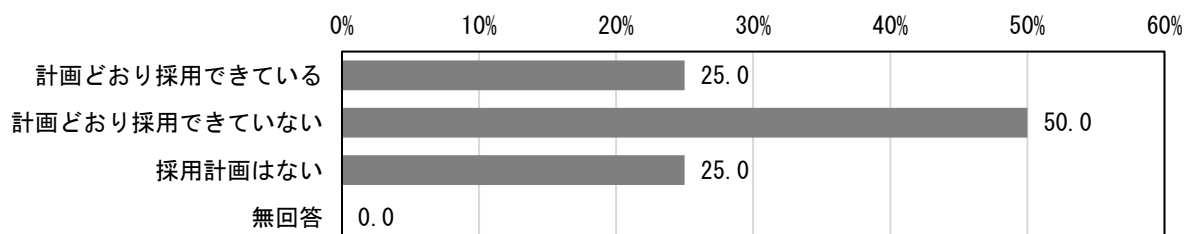
図表17-4-2 A. 常勤職員の定着状況 (N=4)





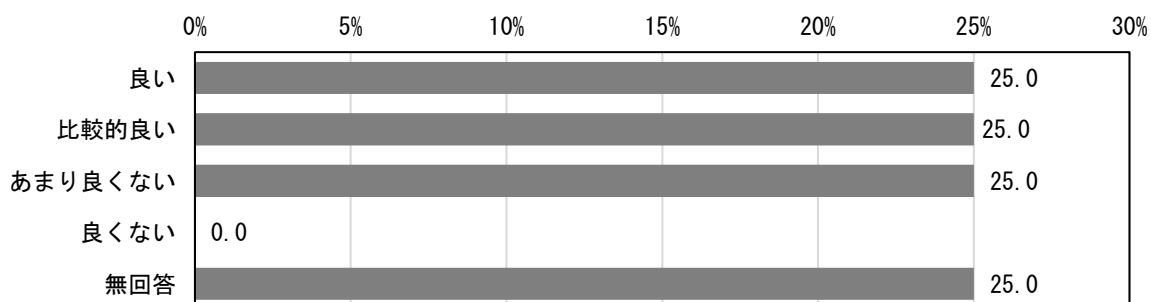
B. 非常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できていない」が2施設、「計画どおり採用できている」、「採用計画はない」がそれぞれ1施設となっている。

図表17-4-3 B. 非常勤職員の採用状況 (N=4)



B. 非常勤職員の定着状況については、「良い」、「比較的良い」、「あまり良くない」、がそれぞれ1施設ずつとなっている。

図表17-4-4 B. 非常勤職員の定着状況 (N=4)



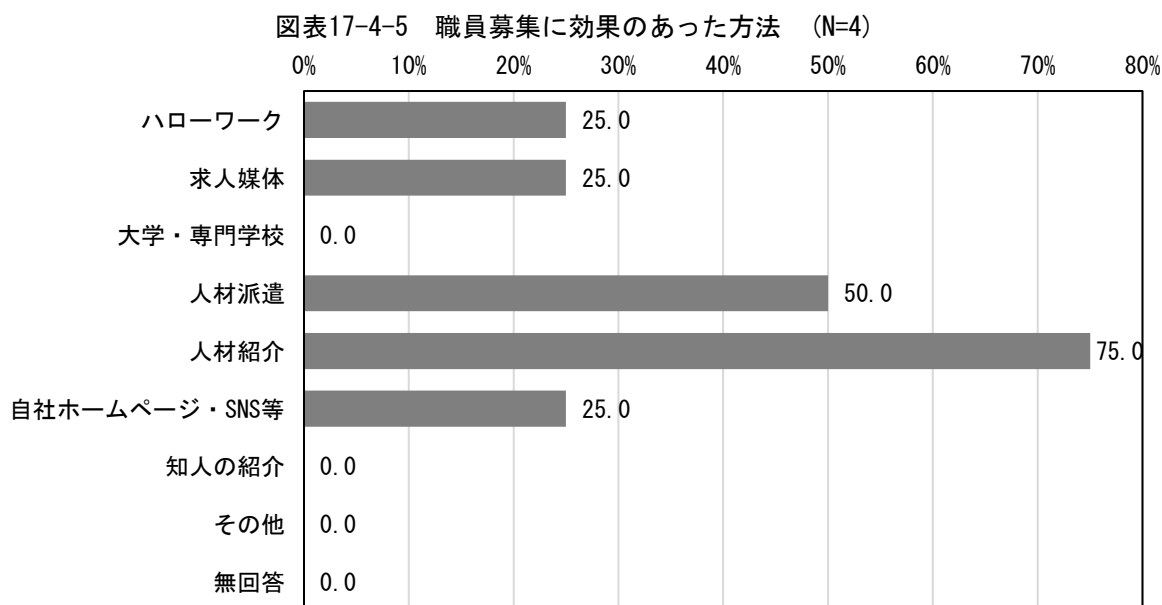
【⑰介護療養型医療施設】

問4（1）－② 職員の募集に効果のあった方法

【複数回答】

職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

効果的な職員募集の方法については、「人材紹介」が3施設、「人材派遣」が2施設、「ハローワーク」、「求人媒体」、「自社ホームページ・SNS等」が1施設となっている。



## 問4（1）－③ 介護サービスの職員数

ア 介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください。

介護サービスを提供する職員数の平均は29.6人となっている。

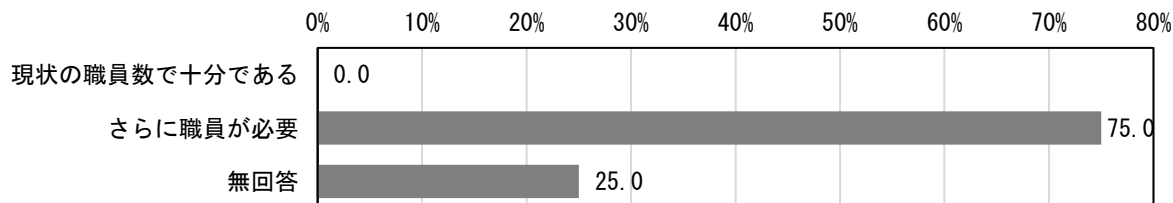
図表17-4-6 介護サービスを提供する職員数（常勤換算）

	平均値
職員数（人）	29.6

イ 望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけ、「2. さらに職員が必要」を選んだ場合は、必要な人数をご記入ください。

職員数に対する考え方については、「さらに職員が必要」が3施設となっている。

図表17-4-7 職員数に対する考え方（N=4）



「2. さらに職員が必要」を選んだ場合の、さらに必要な職員数の平均は1.5人となっている。

図表17-4-8 さらに必要な職員数（常勤換算）

	平均値
必要な人数（人）	1.5

【⑰ 介護療養型医療施設】

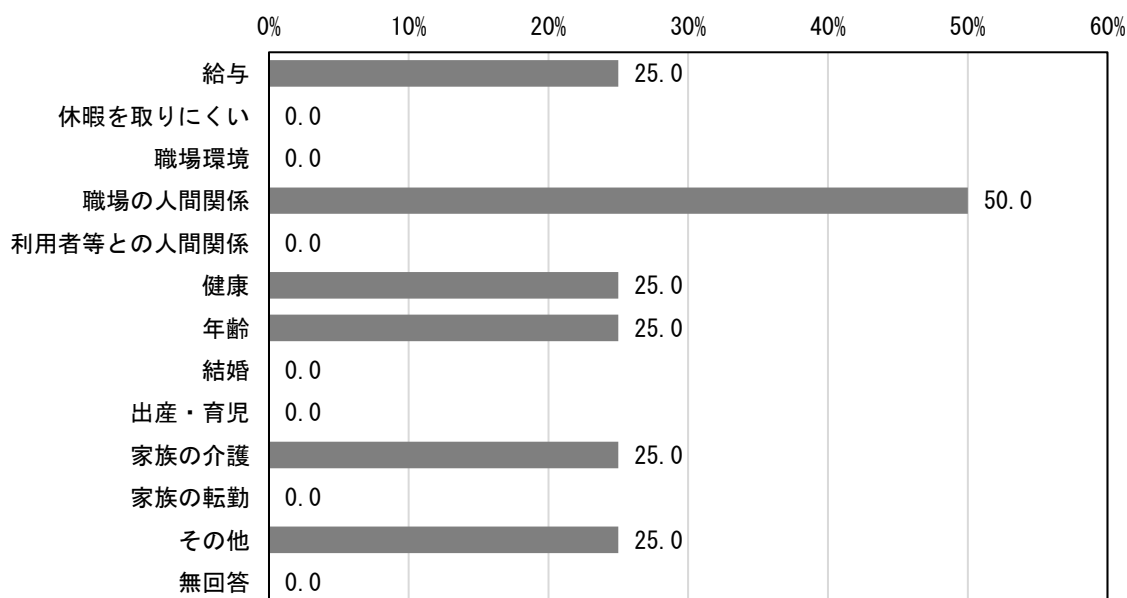
問 4（2） 主な離職理由

【複数回答】

貴医療施設で、過去1年間に離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

主な離職理由については、「職場の人間関係」が2施設、「給与」、「健康」、「年齢」、「家族の介護」、「その他」が1施設となっている。

図表17-4-9 主な離職理由 (N=4)



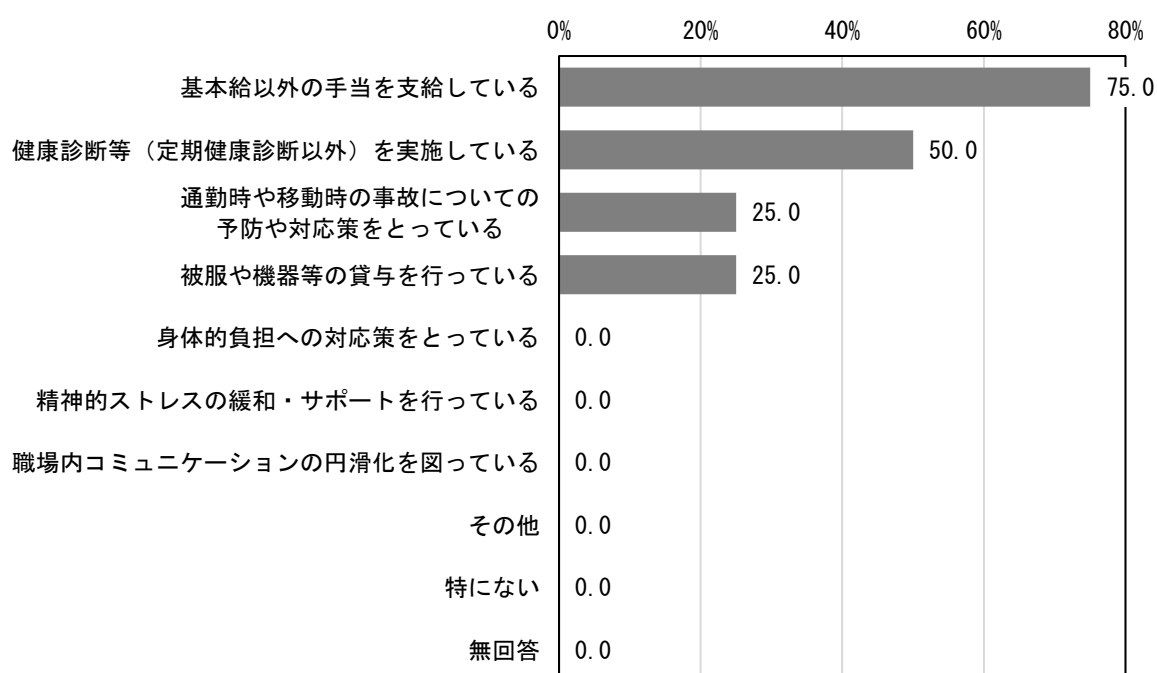
## 問4（3） 職員に対する配慮

【複数回答】

職員に対して、どのような配慮を行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に対する配慮については、「基本給以外の手当を支給している」が3施設、「健康診断等(定期健康診断以外)を実施している」が2施設、「通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている」、「被服や機器等の貸与を行っている」が1施設となっている。

図表17-4-10 職員に対する配慮 (N=4)



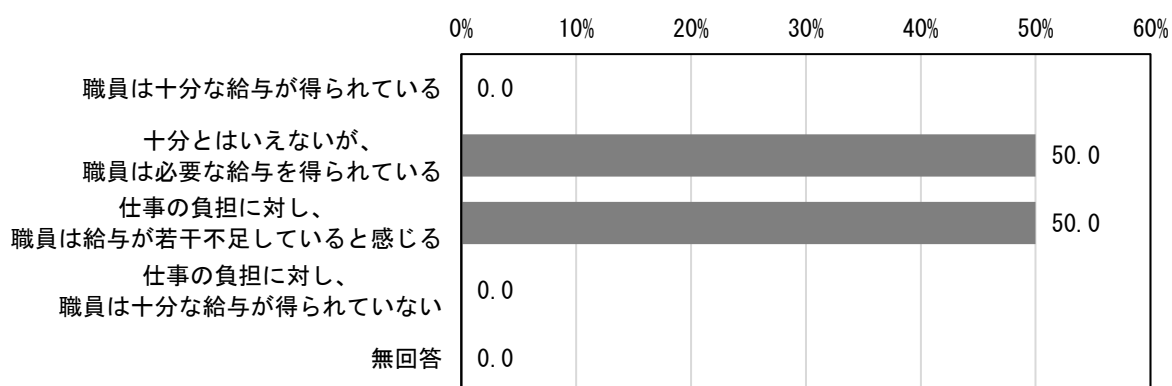
【17 介護療養型医療施設】

問 4（4） 職員の給与

職員の給与についてどうお考えですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

職員の給与については、「十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている」、「仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる」がそれぞれ2施設となっている。

図表17-4-11 職員の給与 (N=4)



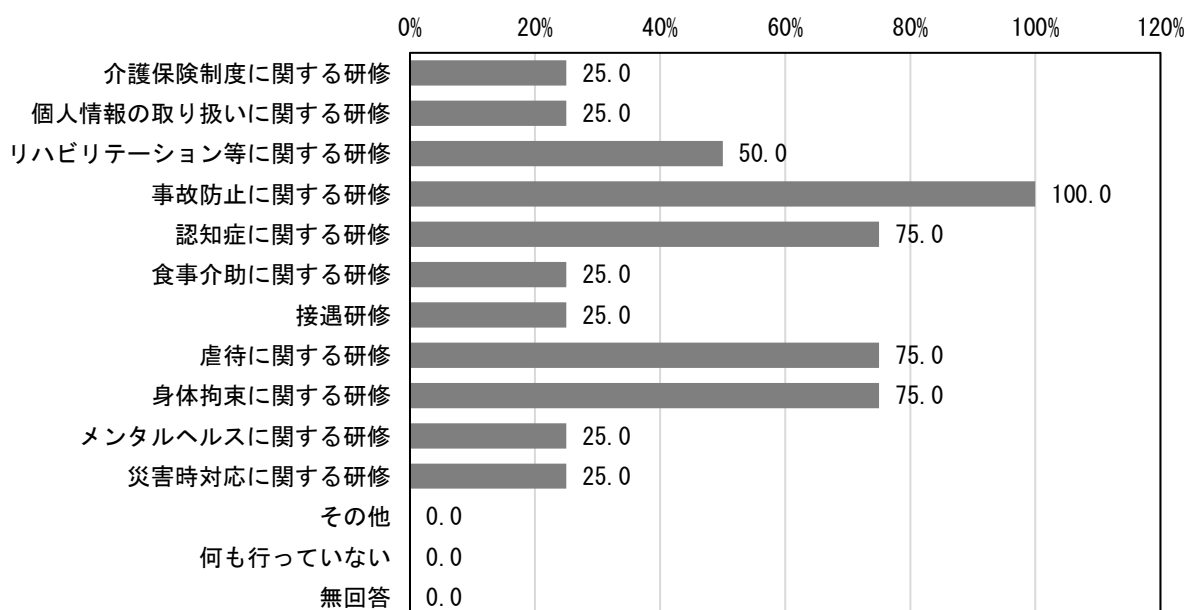
## 問4（5） 全職員を対象とした内部研修の実施

[複数回答]

全職員を対象に実施している内部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

全職員を対象とした内部研修の実施については、「事故防止に関する研修」が全施設、「認知症に関する研修」、「虐待に関する研修」、「身体拘束に関する研修」が3施設、「リハビリテーション等に関する研修」が2施設となっている。

図表17-4-12 全職員を対象とした内部研修の実施 (N=4)



## 問4（6） 外部研修会等への職員の参加

外部研修会等へ職員を参加させていますか。あてはまるものに○をしてください。

外部研修会等への職員の参加については、全医療施設が「している」と回答している。

## 問4（7） 外部研修会等への参加をしていない理由

[複数回答]

(6) で「2. していない」と答えた方にお聞きします。  
外部研修会等への参加をしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

問4（6）で「していない」と回答した医療施設はない。

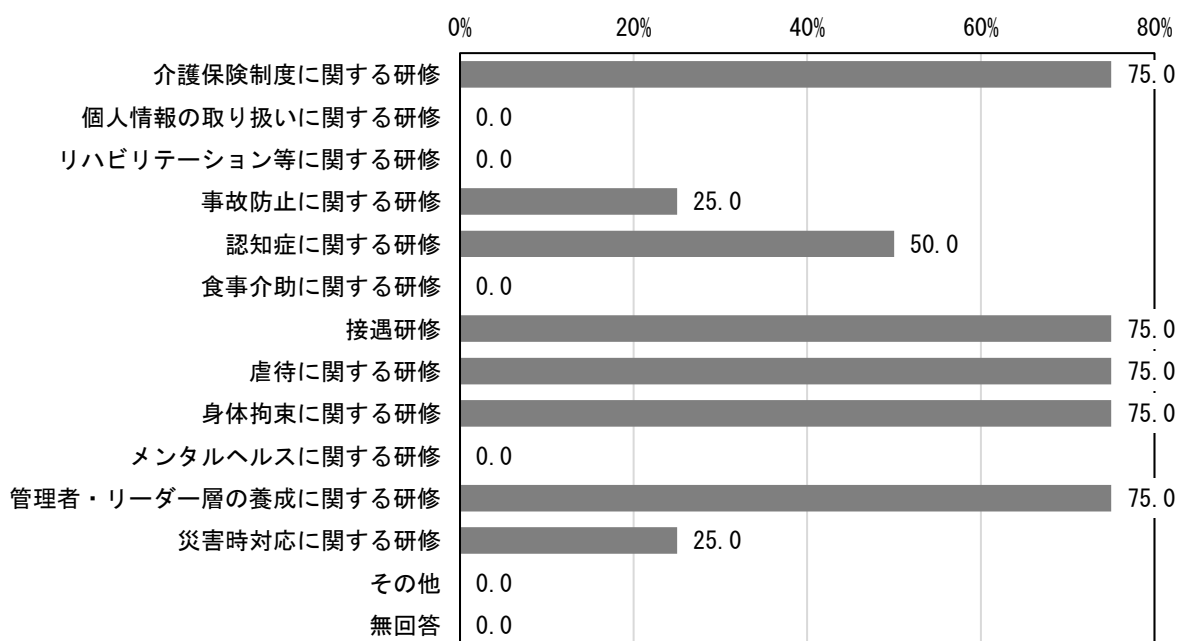
問4（8） 職員に受けさせたい外部研修

[複数回答]

職員に受けさせたい外部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に受けさせたい外部研修については、「介護保険制度に関する研修」、「接遇研修」、「虐待に関する研修」、「身体拘束に関する研修」、「管理者・リーダー層の養成に関する研修」が3施設となっている。

図表17-4-13 職員に受けさせたい外部研修 (N=4)



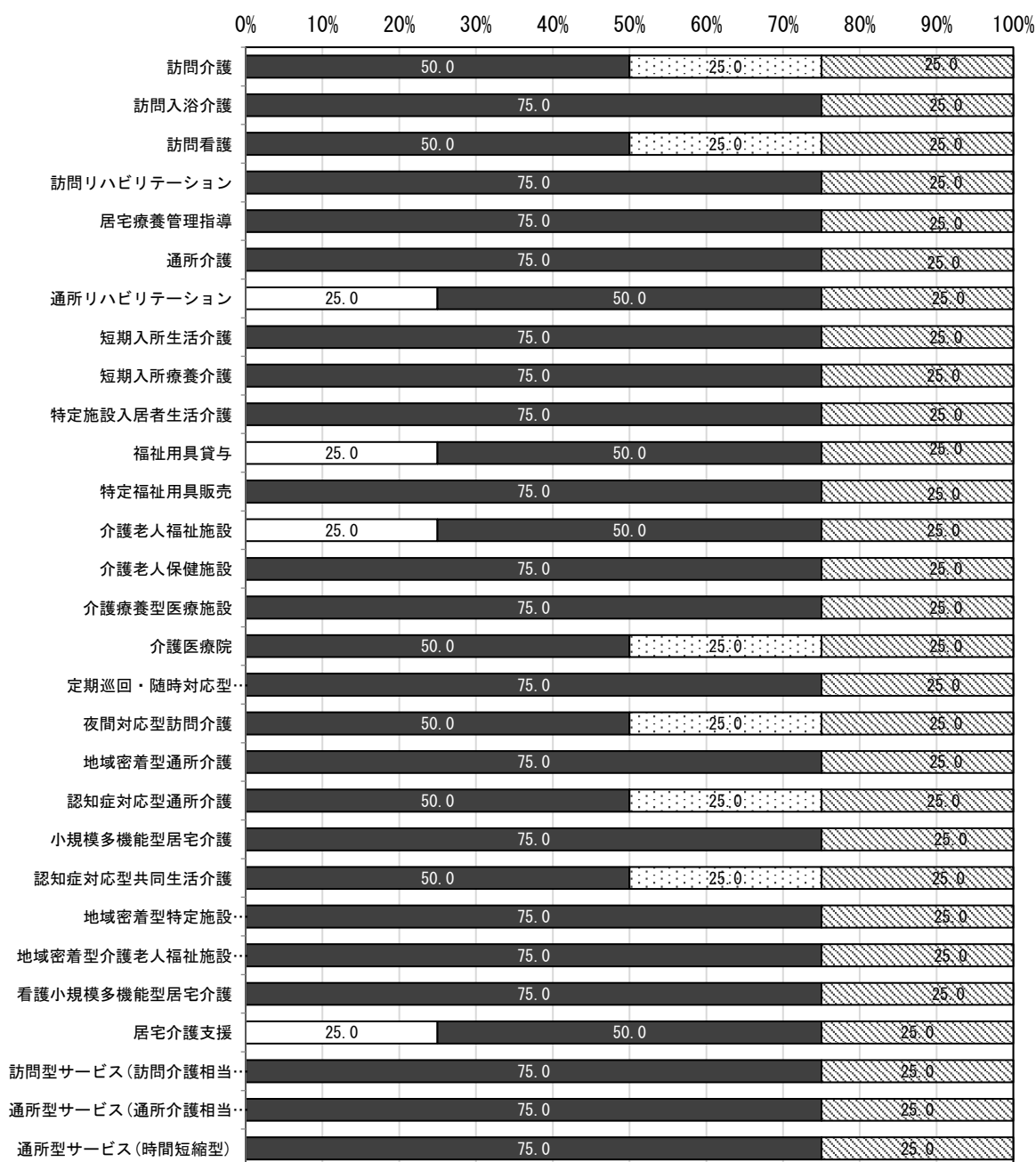


## 問5 事業所の過不足について

介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービスにつき1つに○をつけてください。

「やや多い」は、「通所リハビリテーション」、「福祉用具貸与」、「介護老人福祉施設」、「居宅介護支援」でそれぞれ1施設ずつ、「やや少ない」は「訪問介護」、「訪問看護」、「介護医療院」、「夜間対応型訪問介護」、「認知症対応型通所介護」、「認知症対応型共同生活介護」でそれぞれ1施設ずつとなっている。

図表17-5-1 介護（予防）サービスの現状における事業所の過不足 (N=4)



■多い □やや多い ■どちらともいえない □やや少ない □少ない □無回答

【⑰ 介護療養型医療施設】

## 問 6 介護報酬・職員体制・介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般等に対するご意見

介護報酬、職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策についてご自由にお書きください。

ご意見を回答した医療施設はない。

## 18 介護医療院

配布数 3/回収数 3/回収率 100.0%

### 問 1 施設について

#### 問 1 (1) 施設の経営形態

施設の経営形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

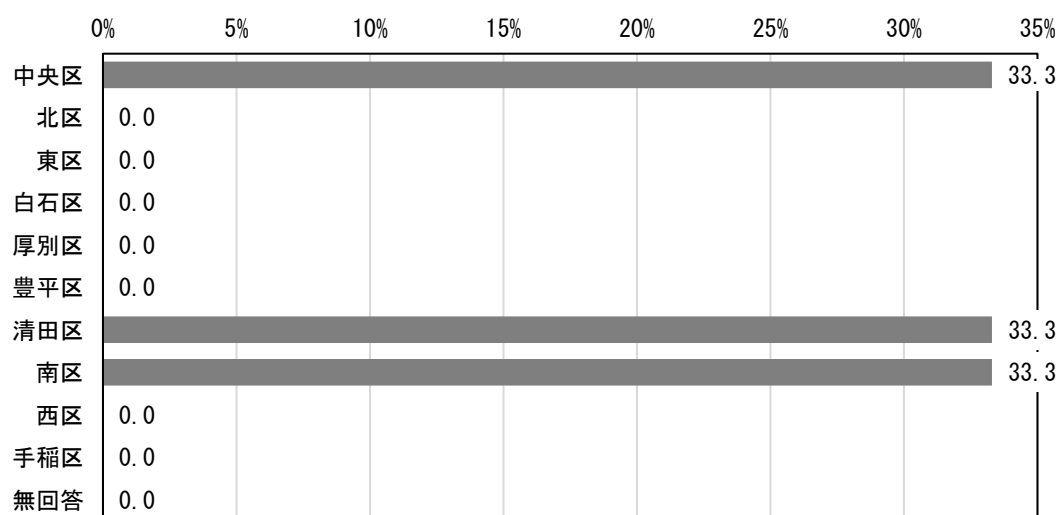
施設の経営形態については、全施設が「医療法人」となっている。

#### 問 1 (2) 施設の所在地

施設の所在地について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

施設の所在地については、「中央区」、「清田区」、「南区」がそれぞれ1施設となっている。

図表18-1-1 施設の所在地 (N=3)



【⑱介護医療院】

問 1 (3) 施設の運営形態

貴施設の運営形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

施設の運営形態については、I型が179床、II型は0床となっている。

図表 18-1-2 施設の運営形態

I 型 (床)	II 型 (床)
179	0

## 問2 サービスの提供状況等について

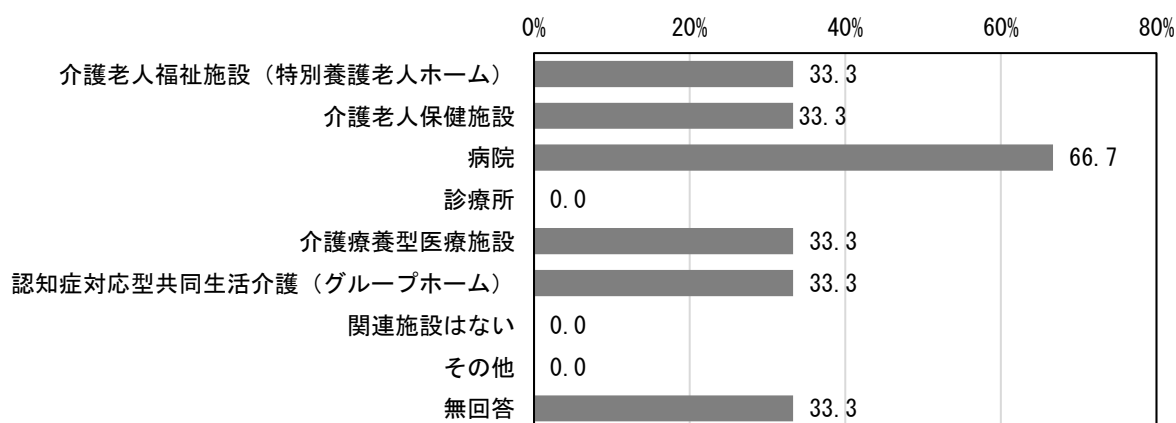
### 問2（1） 関連施設の種類

[複数回答]

貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

関連施設の種類については、「病院」が2施設、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」、「介護老人保健施設」、「介護療養型医療施設」、「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」が1施設となっている。

図表18-2-1 関連施設の種類 (N=3)



【18 介護医療院】

問 2（2） 入所者全員の入所前の状況

「平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 10 月 31 日までの 1 年間における入所者全員」の入所前の状況の人数についてお答えください。

入所者全員の入所前の状況については、「病院・診療所など（医療保険適用）」が 61 人と最も多くなっている。

要介護度については、「要介護 5」が 32 人と最も多くなっている。

図表18-2-2 入所者全員の入所前の状況 (N=3)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
居宅 (人)	0	0	0	0	0	0
ケアハウス・軽費老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
有料老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
養護老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
認知症高齢者グループホーム (人)	0	0	0	0	0	0
サービス付き高齢者向け住宅 (人)	0	0	0	0	1	1
介護老人福祉施設 (人)	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設 (人)	0	0	0	0	0	0
病院・診療所等 (介護保険適用) (人)	0	0	0	0	0	0
病院・診療所等 (医療保険適用) (人)	0	0	4	26	31	61
その他 (人)	0	0	0	0	0	0
合計 (人)	0	0	4	26	32	62

## 問 2 (3) 退所者全員の退所後の状況

「平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 10 月 31 日までの 1 年間における退所者全員」の退所後の状況の人数についてお答えください。

退所者全員の退所後の状況については、「病院・診療所等(医療保険適用)」が 31 人と最も多くなっている。

要介護度については、「要介護 5」が 33 人と最も多くなっている。

図表18-2-3 退所者全員の退所後の状況 (N=3)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
居宅 (人)	0	0	0	1	0	1
ケアハウス・軽費老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
有料老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
養護老人ホーム (人)	0	0	0	0	0	0
認知症高齢者グループホーム (人)	0	0	0	0	0	0
サービス付き高齢者向け住宅 (人)	1	0	0	0	0	1
介護老人福祉施設 (人)	0	0	0	2	2	4
介護老人保健施設 (人)	0	0	0	0	0	0
病院・診療所等 (介護保険適用) (人)	0	0	0	0	0	0
病院・診療所等 (医療保険適用) (人)	0	0	1	12	18	31
介護医療院 (人)	0	0	0	0	0	0
死亡 (人)	0	0	0	8	13	21
その他 (人)	0	0	0	0	0	0
合計 (人)	1	0	1	23	33	58

### 問3 施設の運営について

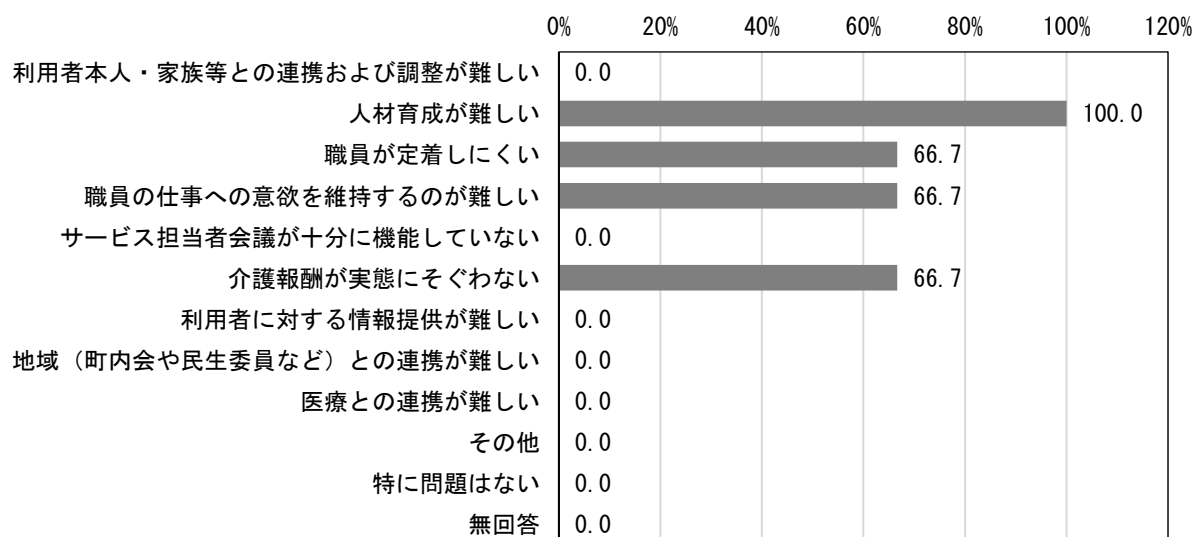
#### 問3 (1) 施設運営に関する問題点

[複数回答]

施設運営に関する問題点はどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

施設運営に関する問題点については、「人材育成が難しい」が全施設、「職員が定着しにくい」、「職員の仕事への意欲を維持するのが難しい」、「介護報酬が実態にそぐわない」が2施設となっている。

図表18-3-1 事業所運営に関する問題点 (N=3)



「6. 介護報酬が実態にそぐわない」に○をつけた事業者にのみお聞きします。その理由は何ですか。具体的な理由や状況をお書き下さい。

主な意見を抜粋し以下に掲載した。

図表18-3-2 介護報酬が実態にそぐわない理由

記述内容
薬剤の包括、緊急時治療の日数(3日)は短い。
I型の(I)ではある程度医療が必要な入所者が必要だが、人員配置を厚くすることができない。



「8. 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい」「9. 医療との連携が難しい」に○をつけた事業者にのみお聞きします。その理由は何ですか。

問3（1）で「地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい」、「医療との連携が難しい」と回答した施設はない。

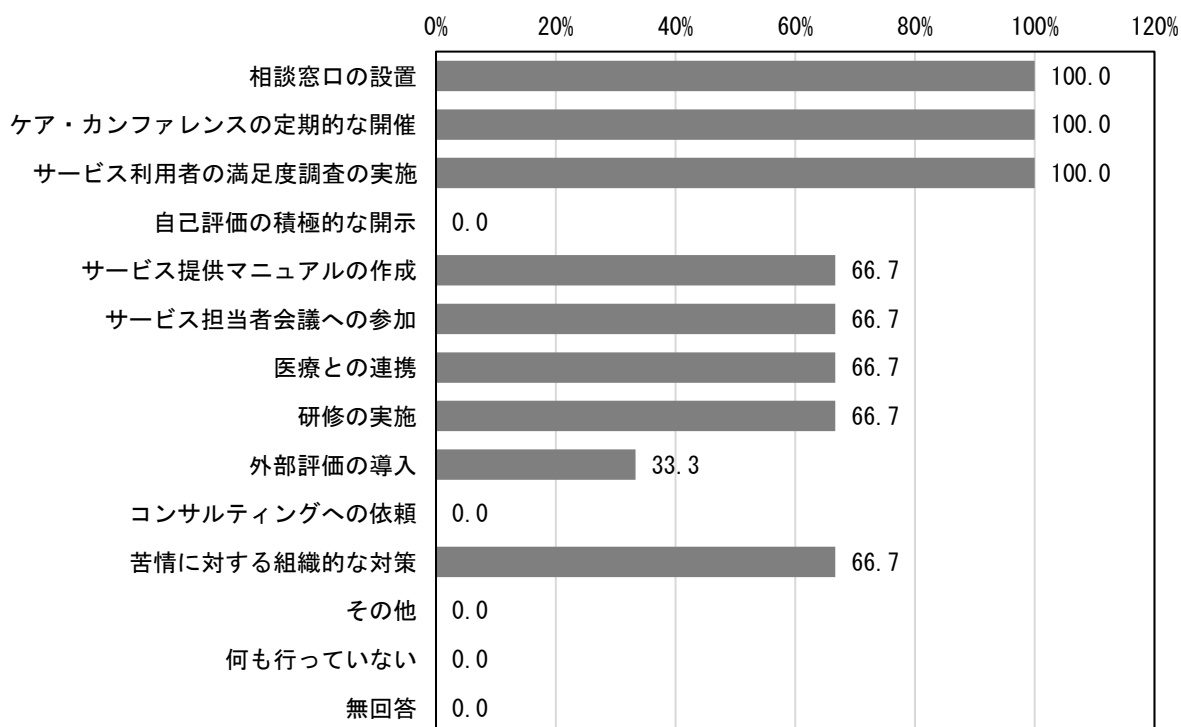
### 問3（2） サービスの質の向上のための取り組み

【複数回答】

サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

サービスの質の向上のための取り組みについては、「相談窓口の設置」、「ケア・カンファレンスの定期的な開催」、「サービス利用者の満足度調査の実施」が全施設、「サービス提供マニュアルの作成」、「サービス担当者会議への参加」、「医療との連携」、「研修の実施」、「苦情に対する組織的な対策」が2施設となっている。

図表18-3-3 サービスの質の向上のための取り組み (N=3)



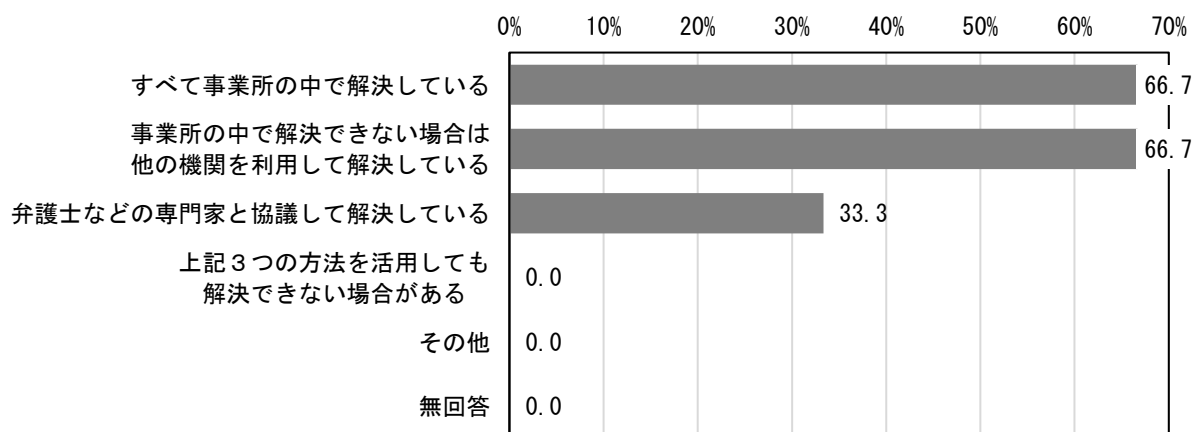
問3（3） サービス利用に関する苦情解決の方法

【複数回答】

サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

サービス利用に関する苦情解決の方法については、「すべて事業所の中で解決している」、「事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している」が2施設、「弁護士などの専門家と協議して解決している」が1施設となっている。

図表18-3-4 サービス利用に関する苦情解決の方法 (N=3)



「4. 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある」に○をつけた事業者のみお聞きします。解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書き下さい。

問3（3）で「上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある」と回答した施設はない。

## 問3（4） 夜間勤務体制

夜間勤務体制について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

夜間勤務体制については、全施設が「基準どおりの人数で夜勤職員を配置」となっている。

## 問3（5） 夜間の人員体制

夜間の人員体制について、ご意見をご自由にお書き下さい。

夜勤の人員体制について、具体的な内容を回答した施設はない。

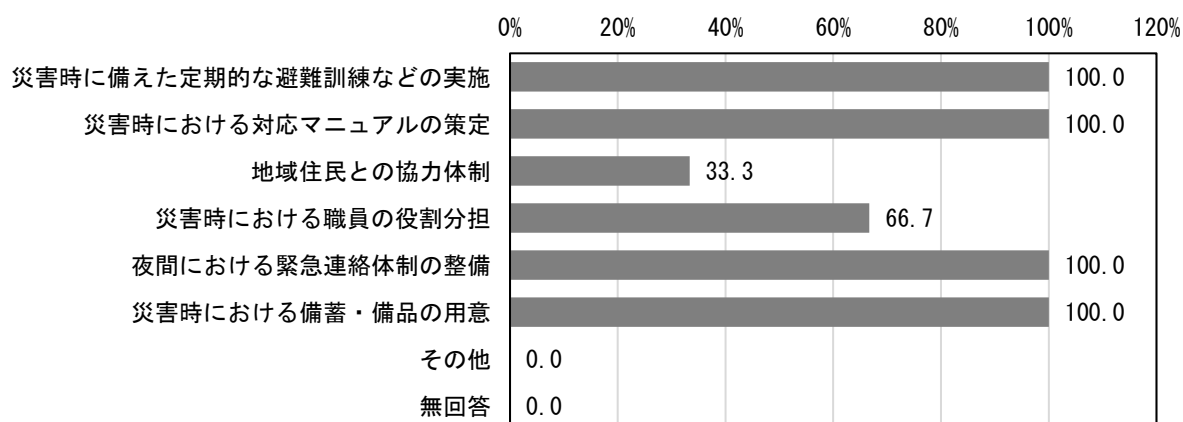
## 問3（6） 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの

【複数回答】

災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生の備えとして既に取り組んでいるものについては、「災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施」、「災害時における対応マニュアルの策定」、「夜間における緊急連絡体制の整備」、「災害時における備蓄・備品の用意」が全施設、「災害時における職員の役割分担」が2施設となっている。

図表18-3-5 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの（N=3）

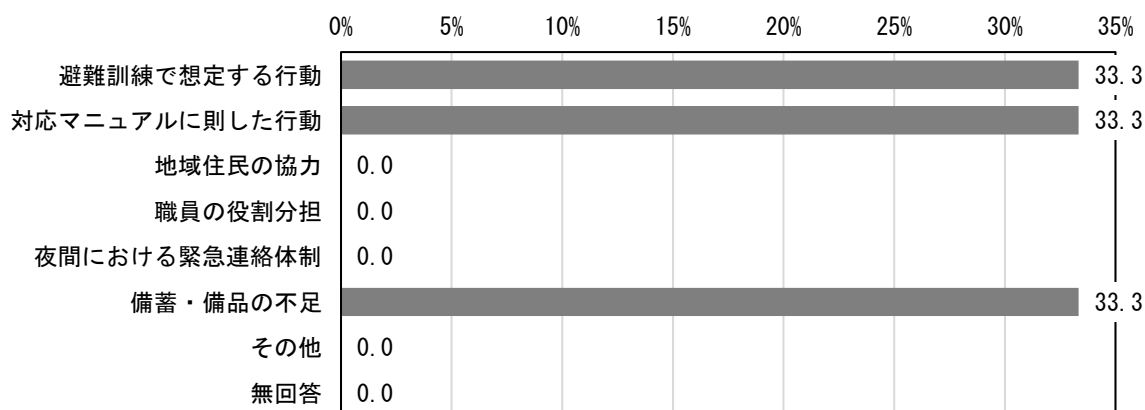


問3（7） 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの

災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいものについては、「避難訓練で想定する行動」、「対応マニュアルに則した行動」、「備蓄・備品の不足」がそれぞれ1施設となっている。

図表18-3-6 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの (N=3)

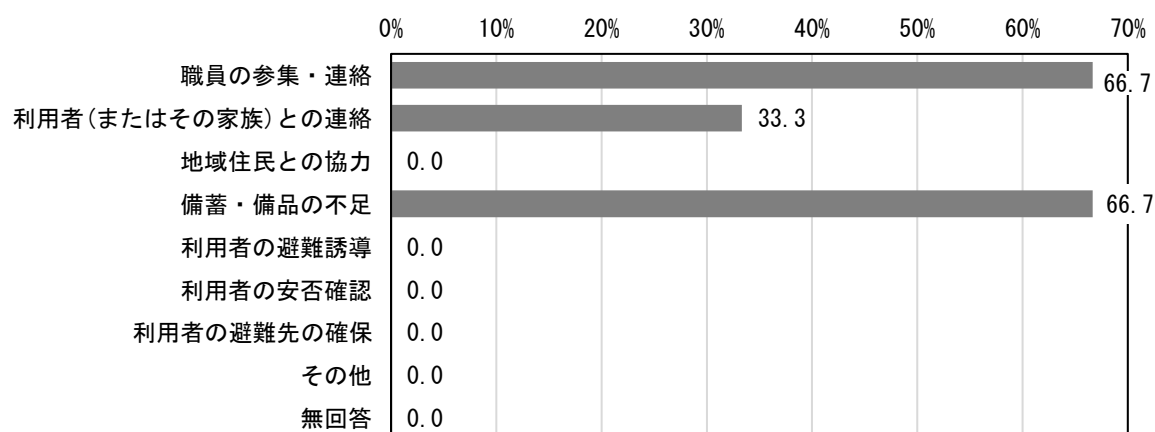


問3（8） 災害発生時に実際に困ったこと

災害発生時（主に昨年の北海道胆振東部地震）、実際に困ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生時、実際に困ったことについては、「職員の参集・連絡」、「備蓄・備品の不足」が2施設、「利用者（またはその家族）との連絡」が1施設となっている。

図表18-3-7 災害発生時に実際に困ったこと (N=3)



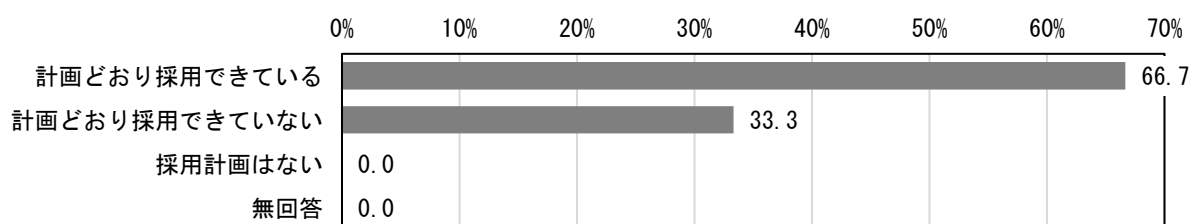
## 問 4 職員への対応について

### 問 4 (1) 職員の採用および定着状況

過去 1 年間における職員の採用および定着状況はいかかですか。A・Bの質問について、採用状況・定着状況のそれぞれあてはまるもの 1 つに○をしてください。

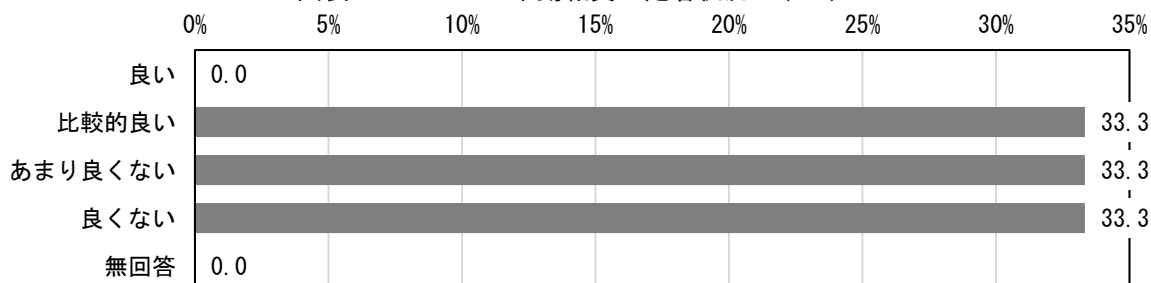
A. 常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できている」が 2 施設、「計画どおり採用できていない」が 1 施設となっている。

図表18-4-1 A. 常勤職員の採用状況 (N=3)



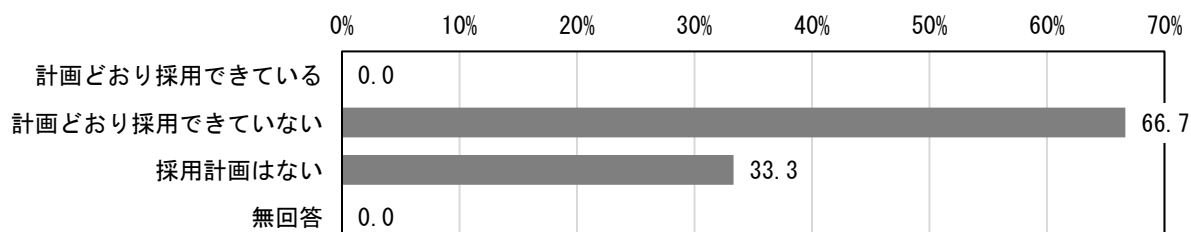
A. 常勤職員の定着状況については、「比較的良い」が 1 施設、「あまり良くない」、「良くない」が 2 施設となっている。

図表18-4-2 A. 常勤職員の定着状況 (N=3)



B. 非常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できていない」が 2 施設、「採用計画はない」が 1 施設となっている。

図表18-4-3 B. 非常勤職員の採用状況 (N=3)



B. 非常勤職員の定着状況については、全施設が「比較的良い」となっている。

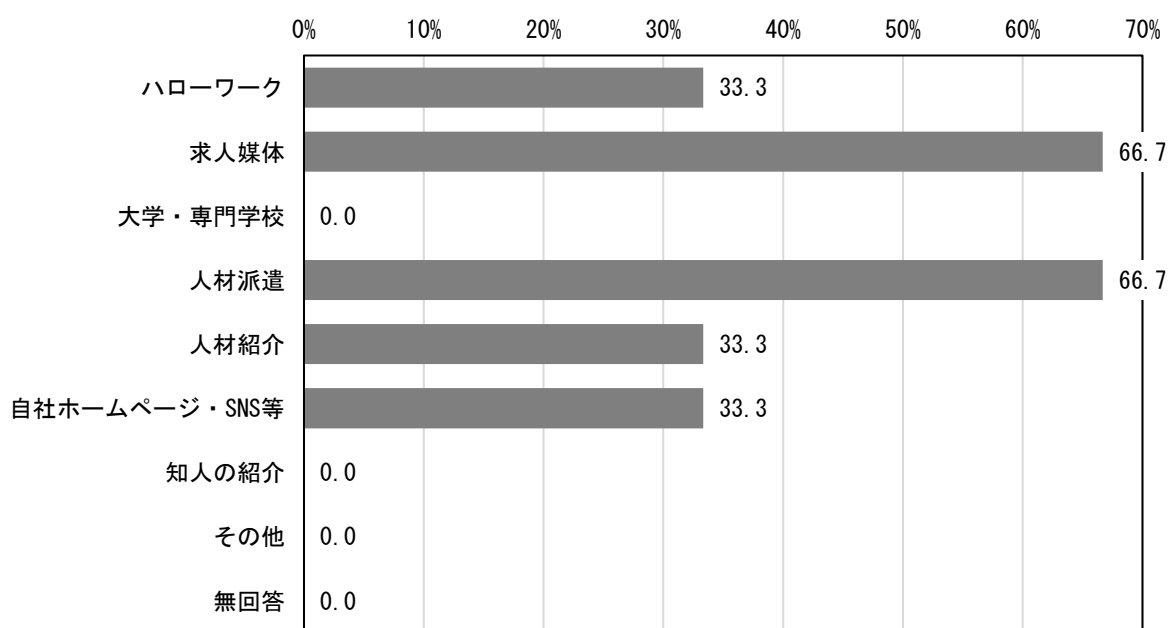
問 4 (1) -② 職員の募集に効果のあった方法

[複数回答]

職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

効果的な職員募集の方法については、「求人媒体」、「人材派遣」が2施設、「ハローワーク」、「人材紹介」、「自社ホームページ・SNS等」が1施設となっている。

図表18-4-4 職員募集に効果のあった方法 (N=3)



## 問 4 (1) -③ 介護サービスの職員数

ア 介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください。

介護サービスを提供する職員数の平均は 15.6 人となっている。

図表18-4-5 介護サービスを提供する職員数（常勤換算）

	平均値
職員数 (人)	15.6

イ 望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけ、「2. さらに職員が必要」を選んだ場合は、必要な人数をご記入ください。

職員数に対する考え方については、全施設が「さらに職員が必要」となっている。

「2. さらに職員が必要」を選んだ場合の、さらに必要な職員数の平均は 10.3 人となっている。

図表18-4-6 さらに必要な職員数（常勤換算）

	平均値
必要な人数 (人)	10.3

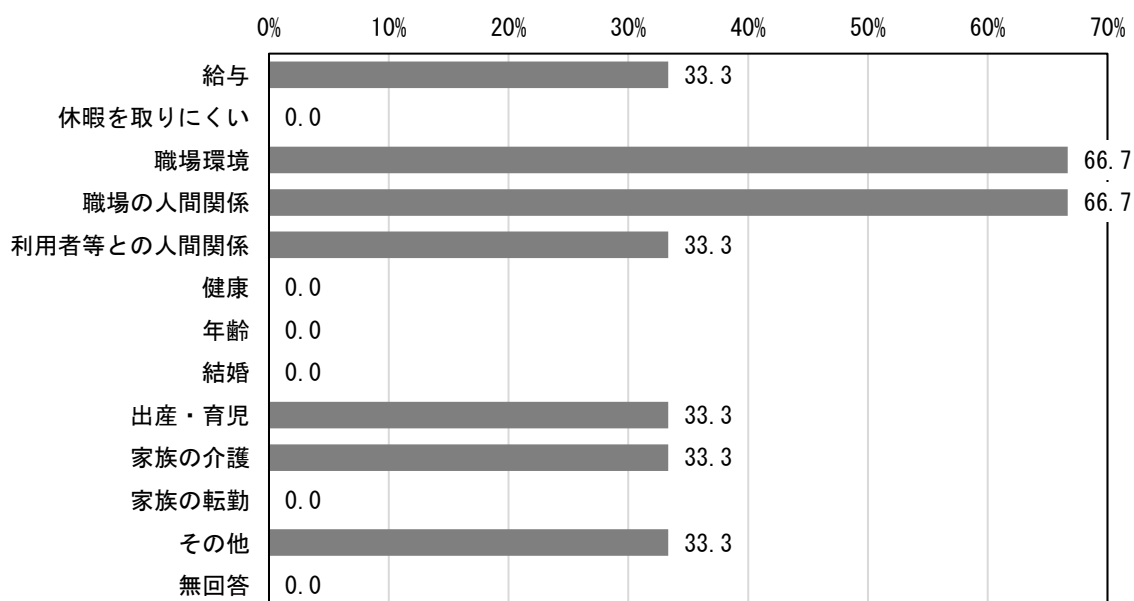
問 4 ( 2 ) 主な離職理由

[複数回答]

貴施設で、過去1年間に離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

主な離職理由については、「職場環境」、「職場の人間関係」が2施設、「給与」、「利用者等との人間関係」、「出産・育児」、「家族の介護」が1施設となっている。

図表18-4-7 主な離職理由 (N=3)





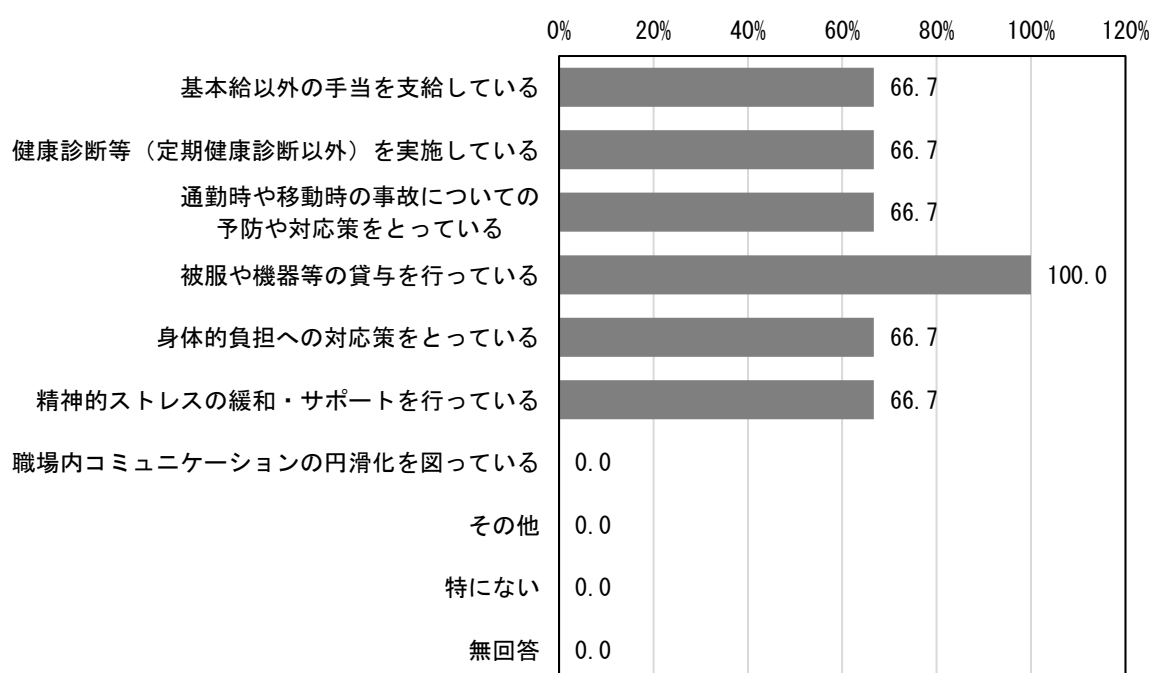
## 問4（3） 職員に対する配慮

【複数回答】

職員に対して、どのような配慮を行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に対する配慮については、「被服や機器等の貸与を行っている」が全施設、「基本給以外の手当を支給している」、「健康診断等(定期健康診断以外)を実施している」、「通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている」、「身体的負担への対応策をとっている」、「精神的ストレスの緩和・サポートを行っている」が2施設となっている。

図表18-4-8 職員に対する配慮 (N=3)



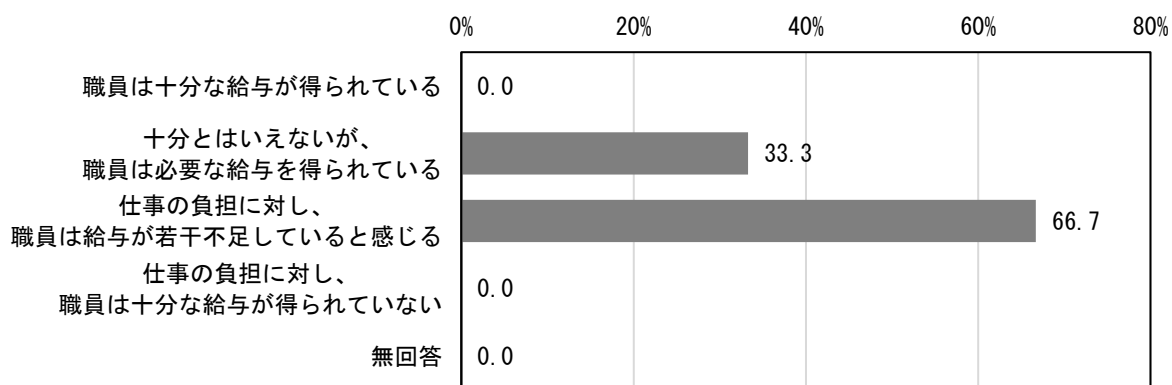
【⑱ 介護医療院】

問 4（4） 職員の給与

職員の給与についてどうお考えですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

職員の給与については、「仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる」が2施設、「十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている」が1施設となっている。

図表18-4-9 職員の給与 (N=3)



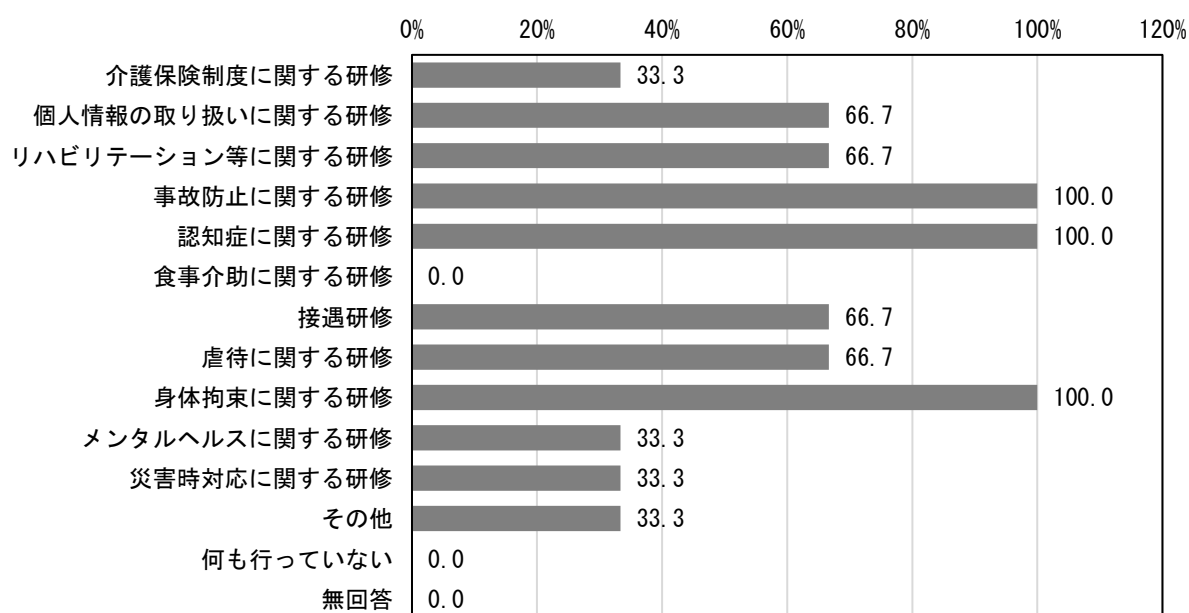
## 問4（5） 全職員を対象とした内部研修の実施

【複数回答】

全職員を対象に実施している内部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

全職員を対象とした内部研修の実施については、「事故防止に関する研修」、「認知症に関する研修」、「身体拘束に関する研修」が全施設、「個人情報の取り扱いに関する研修」、「リハビリテーション等に関する研修」、「接遇研修」、「虐待に関する研修」が2施設となっている。

図表18-4-10 全職員を対象とした内部研修の実施 (N=3)



【⑱ 介護医療院】

**問 4（6） 外部研修会等への職員の参加**

外部研修会等へ職員を参加させていますか。あてはまるものに○をしてください。

外部研修会等への職員の参加については、全施設が「している」と回答している。

**問 4（7） 外部研修会等への参加をしていない理由**

**[複数回答]**

（6）で「2. していない」と答えた方にお聞きします。  
外部研修会等への参加をしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

問 4（6）で「していない」と回答した施設はない。

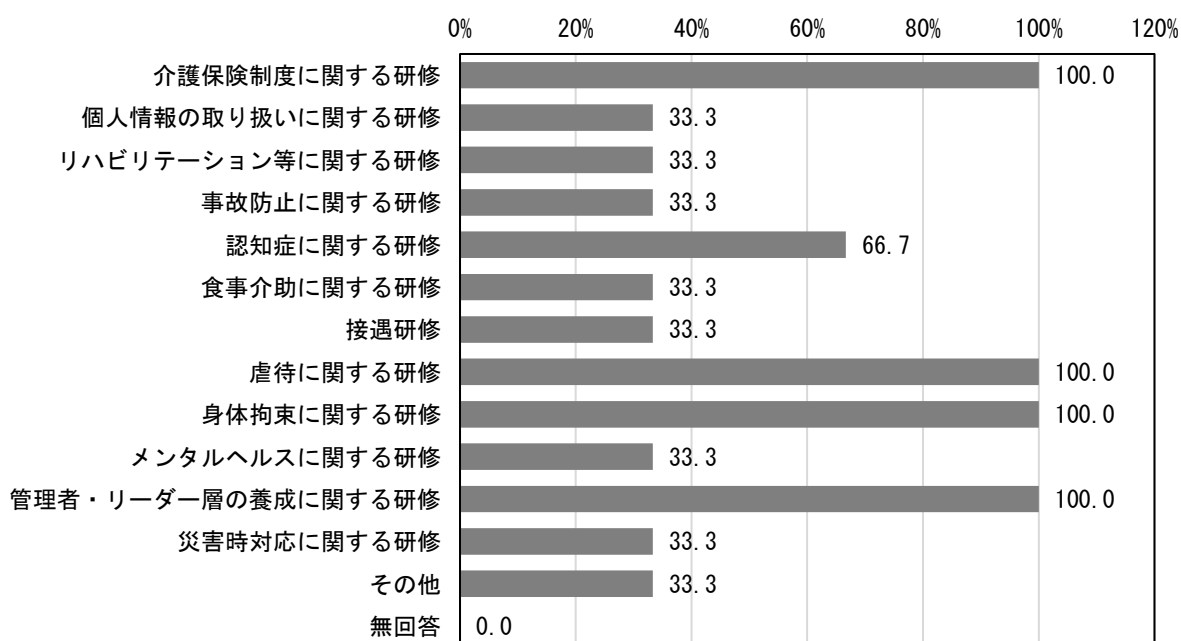
## 問 4（8） 職員に受けさせたい外部研修

[複数回答]

職員に受けさせたい外部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に受けさせたい外部研修については、「介護保険制度に関する研修」、「虐待に関する研修」、「身体拘束に関する研修」、「管理者・リーダー層の養成に関する研修」が全施設、「認知症に関する研修」が2施設となっている。

図表18-4-11 職員に受けさせたい外部研修 (N=3)

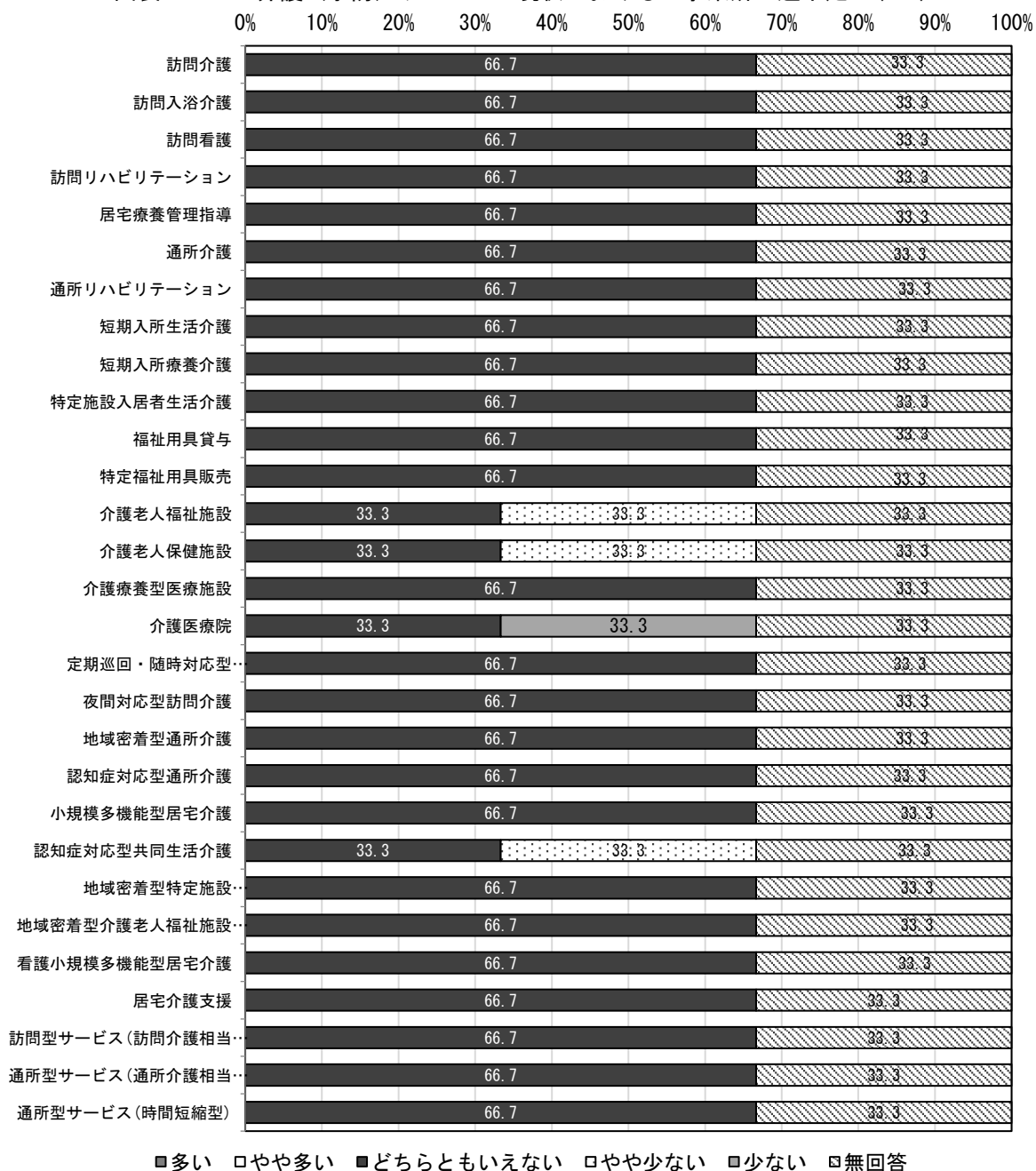


## 問5 事業所の過不足について

介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービスにつき1つに○をつけてください。

全ての事業所について、「多い」、「やや多い」と回答した医療施設はない。「やや少ない」、「少ない」は「介護老人福祉施設」、「介護老人保健施設」、「介護医療院」、「認知症対応型共同生活介護」で、それぞれ1施設ずつとなっている。

図表18-5-1 介護（予防）サービスの現状における事業所の過不足 (N=3)



**問 6 介護報酬・職員体制・介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般等に対するご意見**

介護報酬、職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策についてご自由にお書きください。

ご意見を回答した施設はない。